

# 南国暮らしの会

2006 年 春 季 号



平成 18 年 5 月 7 日



NPO 法人 南国暮らしの会

## 目 次

	ページ
目次	1
平成1.8年度南国暮らしの会総会及び情報交換会・懇親会のご案内 No.24 酒匂 景輝	2
平成1.8年度事業計画書案	4
平成1.8年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書案	5
東マレーシア、ボルネオ、コタ キナバル No.327 市東 明義	6
中国・老人天国万歳 No.498 氏家 孝	11
バンコク生活基本情報 No.423 村上 安・幾代	15
私のフィリピン駐在記 No.988 永井 礼造	17
ヴェトナム L.S目的での海浜リゾート地下見報告10/2～10/30 '05 No.696 加藤 明	22
南洋の島 ロタ No.885 小山 澄男	27
悲劇再び、バリ島自爆テロ事件 No.593 小林 繁之	29
セブで英会話留学 No.592 稲葉 敏夫	33
「フィリピン バギオ」でのスティで思う事 No.563 村井 巳和子	36
ニュージーランドレポート No.643 鈴木 憲介	39
支部報告	42
友好団体紹介コーナー	42
部会伝言板	43
編集後記	43

## 平成18年度南国暮らしの会総会及び情報交換会・懇親会のご案内

理事長 酒匂 景輝

風薫る季節を迎えましたが皆様方におかれましては益々ご健勝の事と存じます。さて恒例の年次総会を下記の要領にて開催致しますのでご出席賜わりたくご案内申し上げます。同封の葉書にて出欠のご連絡をお願いします。出席出来ない方は同葉書の「総会表決権行使委任状」を引き続きご記入願います。

総会出席資格者は定款第21条により正会員のみとします。また「総会表決権行使委任状」提出者は定款第28条により総会出席者であり且つ表決権行使資格者とみなされます。

総会終了後情報交換会・懇親会を開催致します。

敬具

### 記

- \*日時：(1) 総会：平成18年5月28日午前10時00分～11時30分
- ：(2) 情報交換会：同日午後1時30分～4時50分
- ：(3) 懇親会：同日午後5時15分～8時半

\*場所：東京都南部労政会館（JR大崎駅南口徒歩3分）案内図参照

東京都品川区大崎1丁目11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー2階 ・電話：03-3495-4915  
緊急連絡先；宮崎：090-2907-8340

### 1. 総会議題

- \* 第一号議案：平成17年度事業報告および決算報告・監査報告
- \* 第二号議案：細則改訂について
- \* 第三号議案：監事任期満了に伴う新監事の選任について
- \* 第四号議案：理事任期満了に伴う理事会の選任理事の信任について
- \* 第五号議案：平成18年度事業計画および予算案について
- \* 第六号議案：平尾顧問の除名について
- \* その他：平成18年度理事業務分担紹介及び任期満了退任の監事・理事紹介。

注) 第六号議案について：平尾顧問は平成18年3月21日の第7回理事会において、当法人特に当理事会及び理事全員の名誉を傷つけたものとして、定款11条に則り、理事会から除名の処置を受けたもので、その間の経緯を別紙1,2,3に示しております。尚定款に基き本人には弁明書提出を要請しましたが提出されませんでした。

別紙1：平尾顧問が全理事に配布された文書

別紙2：第6回理事会・第7回臨時理事会議事録抜粋

別紙3：臨時理事会確認書

総会の議事進行について：総会開催に当り、会員の皆様にご各議案内容(第一号議案を除く)を事前に検討していただき、ご出席できない方には「総会表決権行使委任状」を予め提出していただくことにしております。よって、総会は掲載事項の詳細説明は省き、質疑応答から開始し効率良く議事進行を計りたいと思いますので皆様のご協力をお願い申し上げます。したがって当日は本会報及び本会報添付の総会資料を必ずご持参下さい。

2. 情報交換会：講師、内容は追ってお知らせします

：出席各支部長ご挨拶

3. 懇親会：フェスタガーデン（場所：ゲートシティ大崎ウエストタワー 地下1階）

4. 会費：情報交換会：300円、懇親会：飲む方2,800円、飲まない方1,700円

以上



# 平成18年度事業計画書案

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

## 1. 事業の方針

### (1) 新規事業

- \* 拡大準備積立金の有効使途の具体化を目指す(国際交流・親睦、団塊世代対策等)。
- \* 新規HPの充実・MLの健全な普及啓蒙を目指す。
- \* 会計処理の合理化を計る。
- \* NPO法人活動の両輪のもう一つ「不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与する」ことを意識した活動を取り入れる、または既に行っているこの種活動を推進する。その一例として一般の人々を対象とした有料セミナーを計画実施する。

### (2) 継続事業

- \* 会報の発行・発送事業を継続し、内容の更なる充実と迅速なる発送を目指す。
- \* 当会への入会問い合わせ者への迅速な対応を図り新会員アップを計ると共に、会員のレベル低下防止を計る。
- \* 発行した「南国暮らし便利帳・医療編」の使用状況を調査し、改訂グレードアップを目指す。
- \* 支部の組織化、計画的活動の更なる充実、本部との連携の強化を目指す。
- \* サロン会を軸に、情報交換会、講演会、支部会、会企画の国内外旅行会を開催し、会員相互の研鑽と親睦を深める。
- \* わが国の退職者等を歓迎する国々の情報を引き続き収集・調査する。
- \* サロン会用名刺兼用の「会員証」発行を継続する。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所・内容	備考
会報作成	会報発行(新年・春・夏・秋)	年4回	表紙のカラー化継続 商標登録証の掲載	会報委員会
会報発送	会報・同封資料の発送	年4回	正確な梱包発送作業と海外発送の迅速化	約10名/回
資料等製作	問合せ・入会者への資料作成送付	随時	約500件/年	会員担当
報告書等製作	会報同封資料の作成	年4回	会員名簿・「必携」の追加資料等の作成	会員担当
	海外暮らし便利帳・医療編の改訂準備	一年掛ける	発行冊子のグレードアップ	医療介護調査委員会
	会員証の発行	夏季号に同封	サロン会名札兼用タイプ	有効期限カット 会員担当
案内書製作	「入会のすすめ」増刷	随時	500部	会員担当
	「必携」新版製作・印刷	夏季号に同封	細則改訂を機に全面改訂。	必携委員会 会員担当
広報活動	对外情報の一括管理 新HPのメンテナンス MLの管理	常時	マスコミとの接点を一箇所絞る。新HPの有効活用	広報委員会 HP委員会 ML委員会
支部活動支援	国内7支部・海外9支部に補助金等支給	随時	各支部との交流促進。 海外支部の支援強化。 ハワイ支部発足予定。	支部推進委員会
	支部単位でサロン会・懇親会・支部役員会等実施	随時	地域活動の推進。 適時人事交流。	支部推進委員会
社会貢献(新規)	一般を対象にセミナー開催	1回/年	啓蒙活動	事業拡張委員会
	LS地への寄付活動	随時	LS地への返礼	事業拡張委員会
通常総会	総会開催	1回/年	東京	総務部
理事会・役員会	理事会の開催 役員会の開催	8回/年 1回/年	東京	他に各種委員会

(2) 収益事業：なし

## 平成18年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書案

- 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで -

2006.04.08

特定非営利活動法人 南国暮らしの会  
(単位:円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予算額 (B)	差 異 (B - A)	摘 要
<b>. 収入の部</b>				
1) 入会金収入	1,000,000	1,030,000	30,000	入会金:5,000円, 想定新規入会者数:206名(前年比20%up)
2) 会費収入	3,115,000	3,550,000	435,000	会費:5,000円, 想定継続会員数:504名(継続率:80%)
3) 資料売収入	350,000	350,000	0	想定有料資料請求者数:350名
4) 寄付金収入	100,000	100,000	0	
5) 基本金等利息収入	100	100	0	
6) 雑 収 入	15,000	15,000	0	有料名刺作成料
7) 事業拡張準備金より繰入れ	0	100,000	100,000	新規事業を対象。「事業拡張準備金」については貸借対照表を参照願います。
<b>1. 当期収入合計</b>	4,580,100	5,145,100	565,000	
<b>2. 前期繰越</b>	307,078	未定		前年度決算での繰越額
<b>3. 収入合計</b>	4,887,178	未定		<b>1. + 2.</b>
<b>. 支出の部</b>				
1) 事業費	3,302,000	4,051,000	749,000	
会報等事業費	1,005,000	1,232,000	227,000	発行部数アップ
会報等送料費	531,000	512,000	19,000	輸送合理化
資料等製作事業費	415,000	440,000	25,000	入会者アップ
報告書等製作事業費	357,000	161,000	196,000	特に新規事項なし
案内書製作事業費	0	400,000	400,000	「必携」更新、「入会案内」増刷
広報活動事業費	140,000	242,000	102,000	新HPメンテナンス強化
講師等謝礼費	60,000	75,000	15,000	携帯支給80,000円含まず
支部関係事業費	794,000	779,000	15,000	ハワイ支部設立を想定
社会貢献事業費	-	210,000	210,000	セミナー開催・寄付金活動
2) 管理費	1,211,000	1,011,000	200,000	
事務用消耗品費	95,000	131,000	36,000	支給名刺作成費アップ
諸会・交通補助費	733,000	678,000	55,000	実績スライド
内外通信費	234,000	50,000	184,000	電話受信代行契約取止め。スカイプ利用
雑費	72,000	132,000	60,000	会議室使用料アップ
寄付金支出	20,000	0	20,000	事業費へ移行
その他	57,000	20,000	37,000	インターネット会計契約
3) 予備費	50,000	50,000	0	
<b>4. 当期支出合計</b>	4,563,000	5,112,000	549,000	<b>1) + 2) + 3)</b>
<b>5. 当期収支差額</b>	17,100	33,100	16,000	<b>1. - 4.</b>
<b>6. 次期繰越収支差額</b>	324,178	未定	未定	<b>3. - 4.</b>

注1. 会員数合計710名を想定しており、この増減により収入・経費も大きく増減するので、期央において予算の見直しを検討し、健全な運営に努める。

# 東マレーシア、ボルネオ、コタ キナバル

関東支部 327番 市東 明義

ボルネオの方が解り易いが、現在はカリマンタン島と言います。そこで一番大きな都市それがコタ キナバル。通称、頭文字をとってKKと呼ばれています。ちなみに、クアラ ルンプールは、KL。KKは、ボルネオで最大の街ですが広さはあまり大きくなく繁華街は0.5Kmと2Km程度でこじんまりした小さな市街です。

KK空港もイミグレを出てすぐ街の中というローカル空港そのものです。リゾートでも最近注目を浴びてきました、日本人のLSは徐々に増えつつあります。我々は今回5回目のKK調査をしました。

また観光客は急速に増えている為、5年前は週一便であった直行便は2年前二便になり今は三便になり益々便利になった。今まさにLSのターゲットに成りつつ在ります。成田から6時間。帰りは深夜12時過ぎにKKを出発、寝ている間に、朝7時前に成田到着。帰宅し、当日の仕事に間に合います、私の好きなパターンです。KK空港からタクシークーポン(600円)、所要10分ぐらいで市内のホテルへ到着。

私は今現在LS出来ないのが毎年のように、5日から10日ほど、KKに行きます。他の国のほかの地にも行っていますが、どうしても魅きつけられる物が有ります、それは、まだ私自身解っていません、何気なくほっとさせられる、穏やかな街です。

本音はコタ キナバルのことはあんまり書きたくなかったのですが・・・あんまり皆さんがKKに押し寄せたらと心配になります。(笑)

## 良いところ

町並みがきれいで、清潔(一部無視)。  
治安の良さ。女性一人でも気楽に歩ける。  
物価の手ごろなところ(但しアルコール別)。  
現地の方の人柄がやさしい、親切。  
基本的にお金をごまかさない。

食事が日本人にあう。  
物売り、物乞いがいない。  
もちろん熱帯だから暑い、でも過ごしやすい。  
果物が新鮮で豊富で美味しい。  
タクシーに気軽に乗れ非常に安価。

## 悪い点

先ずはアルコールが高い。ここはマレーシア、イスラムの国。  
鉄道(電車)が無い。  
ホテル等一部を除きトイレの勝手が違う、特にローカルは? バスタブの無いところがある。  
虫が多い、ヤモリが夜中や早朝、鳴く処がある。  
朝早くコーランがウルサイ所がある  
鶏肉が多く、豚肉料理が少ない。

**観光** 一般の観光案内書を参考してください。  
人それぞれ、好みが違うのですが、世界一の花ラフレシア、4,000mのキナバル山、ジャングル、特殊な昆虫、等々有りますが、遺跡、建築物、歴史的なものはないのです。

しかし雄大な自然があり、それを満喫するのがボルネオです。しかしコタ キナバルは小さな繁華街、ここでぶらぶらするのも好し、ジャングルの中に入ってウォーキング&トレッキングも又よし。涼しい高原に行き、田舎の町をぶらぶらするのもいいでしょう。他の地とチョット違ったスペシャル観光です。

長期ロングステイをして自分流に仕上げると良い処かなと言う街、ローカルもまたよし。気楽な、今までの人生の洗濯の場所。

そして素晴らしいゴルフ場が多くあります。しかも熱帯でありながら、涼しい快適なコースがあったのです。

マレーシアはゴルフ天国で気軽にプレーでき楽しいゴルフをしています。言うまでも無いですが、スコアは二の次。そうです、お酒が一番。

## ホテル事情 & 住情報

5つ星ホテルは5箇所あり4つがリゾートタイプでいろいろなレジャー設備を備え隣接ゴルフ場持っています。ここの4箇所泊まったが、全て快適に過ごした。このうち3つのホテルが市街から遠距離にあるため市街へ行くのが億劫に成った、しかしホテルライフは快適だった。ただ、ホテルによってはフロント扱いによるセーフティボックスが壊れているところがあった。

5つ星ホテルは10,000円から15,000円。

ハイアットは8,000円から。

初めて行くなら5つ星もいいですが、次からは市内のホテル(中級)ホテルのほうが便利です。1泊ツインで3,600円のホテルに泊まった時は、市内見物、食事、買い物に非常に楽しかった。中級ホテルは5,000円程度。3000円以下の所もあります。これもまたいい。

大きな違いはホテルの設備(娯楽の為の)と施設(庭園、周囲の造形、装飾品その他の豪華さ)の差ではないかと思っています。又客に対する、親切、丁寧はホテルの差でなく、従業員の個人差でしょう。どこのホテルも長期LSには応じてくれます。

## コンドミニアム

市内の相場、個人所有と会社所有がありそれぞれ交渉による。

一ヶ月2LDK 55,000円から75,000円

3LDK 60,000円から95,000円

車で30分も行けば郊外になり貸家が有りそれこそ2万円切ったものから、20万円それ以上も有ります。私の知る限りのLSしている方は全員コンドです。中には二階建ての一軒家の二階部分を貸しているというのも有ります、しかしこれは年契約になります。一般的なLSは月単位のコンドの契約のほうが良いのではないのでしょうか。

## その他

最近6畳一間、一日素泊まり一人900円、2人1,200円と言う短期滞在タイプを見つけたのでこれから詳しく調べてみようと思っています。

## 食べる楽しみ

### シーフード

何時どこで食べても美味しい、中には水槽に泳いでいるその物(魚、貝、えび、蟹)や、野菜を選び、調理方法を指示する事も出来ます。

シーフードレストラン:

**ポートビュー、川奈、海王城、  
ジャランガヤ、ウォーターフロント、  
ガーデンシーフード(海龍城)**

本格イタリアレストラン:リトルイタリアー

飲茶:シャンパレス(香宮)、広東(ガヤ通り)。

日本料理:中国人経営中国人料理人、長崎

何所でも何時でも誰でも美味しく楽しい小さなお店の名前も覚えていないレストラン&食堂が又納得するお店が多数あり、毎回初めての経験をするのが楽しみです。それがマレーシア、KKの良さ一つでしょう。

**セドコウ、スクエアー(複数の店舗屋台)**

美味しい餃子、サテ、野菜、魚介類のイケス、それにビール有り、町の中心地にあり。屋台大好き人間ですから、ここは必ず行きます。以上一度は食べてみる価値ありの店です

## 散策

### サンデーマーケット

市街の東はずれのガヤ通りに現地の人たちが出店するバザールです。日曜の早朝から始まりほぼ午前中で終わる。例えば、天然の蜂蜜が無造作にポリバケツに入れられヒシャクですくって、売っている。骨董品、アクセサリー、野菜、果物、日用雑貨、衣類、履物、植木、花、ペット、数えたらきりが無いほど、ぜひお勧めです。

### ショッピング

大きなモールがあります、主だったものは、**KKプラザ、ウイスマムルデカ、センターポイント、プラザウイスマ、カラムンシン**等、買い物には不便しません、又それぞれのモールに両替屋が有りKK空港を出たところに有る両替屋(3店舗あるが全てレートが違う)より常にレートが良いので、空港の両替は少しにして後はこれらを利用すると良いと思います。

このような大型店舗以外にもたくさんのいろ

いろいろなお店が有りますのでショッピング好きな方は楽しみながら買い物してください。

我々も、買い物してぶらぶら歩っているとさっき買った値段の半値近くで売っていたりするのを何回も経験しています。悔しがったり、喜んだり楽しめます、所詮、たいした買い物ではないのですから。

最近やたらめったら値切ってる日本人を見かけますが、観光客ならまだしも、現地に溶け込むL Sと思ったら、スマートにしていきませんか、南の会のメンバーだけでも。

### このついでに、

南の会の会員の方々に提案です。私は海外旅行の際に現地の子供達にプレゼントを持参します、ドコの誰にあげると決まっていますが。例えば、ゴム風船、折り紙、簡単なステーションナリー、その他、かさばらない軽い物です、最近綺麗な、かわいいシールを持参する事が多いです。これからもっと良い事考えます。皆さんも良いアイデア有ったら教えて下さい。

公園で散歩しながらタイミングを見て親がいたら了解を得てあげます。マレーシアのブキメラではオランウータンの子供に私が持っていた膨らんだ風船をねだられ飼育担当者に聞いたらOKと言うことで、あげました。このオランウータン得意になっていたのを見たらこっちも嬉しくなりました。

### 我々の過ごし方

先ずゴルフ、朝一番で食事をし、一時間ほどしてタクシーでゴルフ場へ向かいます。遠くのコースなら、その行き来が観光になります。その時に応じて、遠回りをリクエストします。

M t キナバルのゴルフ場の帰り、がけ崩れが有りいつ復旧するか判らないと言う事で他のルートで5時間（普通なら2時間弱）かかってKKまで帰った事が有りました。

一般の観光では通らない道を走る為、珍しい楽しい、発見があります。その後、街をぶらぶら、いろいろなお店を見ながら、買い物をし、夕食の場所探しに移ります。

### ゴルフ情報

ボルネオの、KK周辺では、

**ステラ ハーバー G & C C 088-252-266**  
27H、P108、9,351m、レート109、5

街の空港寄りに位置しステラホテルの周りを取り囲んでいる。ナイター設備あり。ステラホテル経営。プロショップあり。時期により水はけの悪いホールがある。6時からスタート出来、5時から9時までナイトゴルフになる。メンバーズゲスト3,150円、ホテルゲスト4,050円

**ダリット ベイ G & C C 088-791-188**  
18H、P72、6,369m、レート74、5,520円

KKから1時間程のラサリアリゾートホテルに隣接、ホテルの経営。日本のスコアカードがあり、上質な貸しクラブ有りました。各ホール、ウオーターハザードが絡んでいるが楽しいコースで毎回KKへ行く度にプレーする。フェアウェイまで入れる電動カート有り、1R900円。普通はラウンド中雄大なキナバル山が見られる。運が悪いと見られない、貴方はどっちでしょう。年間会員一人72,000円、夫婦会員82,500円

ここのレストランは一度経験する事をお勧めします。テラスレストラン、オープンエアレストラン、完全ガラス張り冷房がんがんルームの3種類のタイプがあります。もちろん我々は何時も、冷房がんがんの部屋で2時間ぐらいのんびり飲んで食べています。

美味しいケーキが10種類以上あり、料理の味も満足。プロショップあり品数多し、おみやげ物あり。ここでプレー費を支払う。このプロショップのマネージャーが女性。私の顔覚えていよう愛想が良い、最も5回も行けば当たり前かな。

**カランプナイ G C 088-411-215**  
18H、P72、6,711ヤード。レート71、3

ネクサスリゾートホテルの施設でホテルの周りに位置している。コテージ側に泊まるとホテルフロントへ行くより半分の距離(200m)にゴルフコースフロントとゴルフ場レストランがある。

このコースでプレーした後コースのレストランで夕食をし本館のレストランに行かずに済ま

せた。平日の4時ごろ我々だけで貸切スタイル。

**ボルネオCC 087-861-888**

18H、P72、6546m。レート73、1R6,000円

市街からハイウェイ1時間(70Km)のJニクラウド設計のチャンピオンコース。立派なプロショップ、記念品、品数多し、マレーシアゴルフクーポン売っていた。

レストランはテラスタイプ、インナータイプの2種類。味は普通。KK市内に泊まりこのコースの行き来が楽しい、このときが平地のローカル観光になる。

**MtキナバルGC 088-875-554**

18H、P72、6,319m、レート73

KKから2時間チョット、キナバル山のふもとと標高1,500mに位置し涼しい快適なゴルフが出来る。貸しクラブ無し。マレーシアドルしか使えない。レストラン無し、平日ガラガラ。予約しないとキャディなし、丘陵に近い山岳コース。ここでプレーする場合食事時間を考える、ここではレストランが無いし、売ってもない。飲み物は4~5種類ある。平日1,890円、土日3,150円。二人乗りバギー1R720円で利用する。

**ラナウGC 088-247-533**

18H(9Hを2回)P72、5,677m、レート69.9

市街から2時間以上かかる山の中、しかし9Hのフラットなコース、同じコースを2回廻ってラウンド成立。但しティーショットは違う所で打つ。ハーフ900円、2回廻って1,800円、キャディ18Hで540円チップ60円。日本語が少し解る70歳ぐらいのキャディと一緒に廻った。

レストランは無いが、150円で5~6種類のおかずのランチバイキングが出来る。ここもマレーシアドルで支払い。

**ケニンガウGC&CC 087-331-113**

18H、P72、6,203m、標高約500m

フラットコース、立派なクラブハウス  
平日1,590円、土日3,150円

帰りの足の手配の要注意、キャディOK。

**タンブナンGC 088-302-602**

1,000mほどの高地。時期によりコース悪し、グリーンは良い。ケニンガウ、タンブナン街道に面している。現在18Hに増設中料金は18H、

約1,000円、コース状況はフラットで良好、キャディOK。売店、レストランメニュー少ない、ビールあり

**クダッGC 088-611-002**

18H、P72、6,080m、レート71.9

島の北端近くクダッにありKKから175Km、タクシーで2時間半くらい、ボルネオ最古のコース。1R3,000円、近年湾側に9H増設された。1,000円

**サバG&CC 088-224-788**

18H、P72、6,335m。KKの中心から10分の

町外れ、624ヤードP5と言う名物ホールがあります。メンバーシップ基本的にメンバーの紹介がないとプレーできない

**インピアン ジャディ ビーチ リゾート**

トゥアランに在る18H

**ケラブ ゴルフ ラブアン 087-412-215**

サンダカン 9H

パモル サバ ゴルフ クラブ

サンダカン 9H

**ラハ ダトゥG&CC 089-889-288**

ボルネオ東はずれの街、18H

**サンダウG&CC**

サンダカン ラハダトゥ9H

**タウウGC 089-765-555**

タウウ 9H

**シャンスイG&CR 089-916-999**

18H、76,644m、P72、レート75.5

タウウ(KKから飛行機で45分タクシーに20分乗る)1R5,400円キャディ480円バギー750円

**KK市内のゴルフ練習場**

**リカス ドライビング レンジ**

二階建て88打席100球150円、約250ヤード。  
市内リカススクエア、コンド近く。

今この原稿を書いている最中連絡が入った。1月2日出発9日帰り航空券だけ取れた。あとは行くだけ、行き当たりばったりの旅、今度は山の中、ラナウ、タンブナン、ケニンガウ、クダサン、中心に夫婦二人のゴルフ三昧、LS

最適情報もっと調べて来ます。

金額は1RM = 30円で換算

## 今回特筆情報

### 長距離タクシーの乗り方

KKのタクシーは日本と異なり流しは原則では無いようです。近くはホテルからとか、タクシースタンドで乗るのが普通です。

長距離は行き先により乗る場所が分かれています、メーターが無いので金額を交渉して決めます。営業車も有りますが日本で言う白タクが多くいます。是が又楽しい。是ももちろん交渉、我々の場合はクダツまで行くというと足元を見られ、最初9千円と言われました。普通は高くても3千円チョットと聞いていたので、別の交渉人と話し合い5400円で手を打ち、金額はOKだがポンコツ車はだめと交渉、往復約500Km約10時間の貸切でした。

このドライバー英語が出来ないので自宅が近かったので奥さんを同乗させ通訳として我々と行動した、我々英語は堪能ではないが非常に助かりエンジョイし遠く寄り道(奥さんの実家訪問の為、ジャングルの奥地で20戸ほどの古い高床式集落へ同行)し、うまくコミュニケーションが取れ、これから南の会員の為に安易&適正料金で頼めるタクシーの一人にしたいと考え交渉し、納得していただきました。是から更に具体的な利用方法と金額の打ち合わせをし、合意ができた時点で報告する事に致します。KKがホームグラウンドと言う事ですから多に利用できる事と思います。KKでのタクシーは近くても遠くても事前に金額に納得してから乗るようにしたいものです。他に注意する事は特に長距離タクシーの場合乗り合いになる事が有ります。もちろん乗る人数で料金が違ってきます。一人で乗るときも、二人で乗る場合も他の乗客を載せる場合があることが多いです。

### ケニンガウの街

KKから南西約100Kmほど離れたゆっくりした街です。今回はJUTAというホテルに予約無しで一泊した。8階建ての街では目立つ

建物ですぐわかりました、フロントで申し込み1泊ツイン4500円前金、フロントのレディ2人愛想がよくBGMが日本の音楽に変わった、納得のいくきれいな部屋でした。

レストランは50~60人収容できる広さだがメニューが貧弱、その為我々は近くの夜市で買いホテルに帰って部屋で食べた、焼きそば、サラダ、鳥の砂肝の煮物、取りレバーの煮物、から揚げ、弁当1つ、合計330円、2人で半分しか食べられなかった。非常に美味しかった。満足満足。

翌朝の食事は宿泊料金に入っているアメリカンブレックファースト、最低の朝食、ちなみに料金は是単独だと480円、1個の目玉焼き2本のウインナー、薄い小さなチーズ、マンゴー3切れ、スイカ3切れ、コーヒー今迄で最低。街は整然としていて町並みもきれい、でもここはマレーシア。治安も申し分ない、マレー人の人柄もいいので、又何時かもう少し長く逗留したい気持ちになった。

ここもタクシー乗り場が長距離と、市内用と場所が違い又離れていた。ちなみにKKからケニンガウまでのタクシー代我々夫婦2人だけで片道3000円。

### タンブナンの街

タンブナンの街はケニンガウへ向かう30Km手前に在る。ケニンガウと同じような街だが規模が小さくこじんまり、この宿泊は街はずれのTVRC(タプナブルレヅリセンター)でも予約無しでOK,同じくデポジット2700円食事別。ここはホテルと異なり山荘風ロッジ(キナバルパインリゾートと同じ様な建り)、我々以外宿泊客なし別棟単独のレストラン池を隔てているので歩いてイケの周りを歩いて夜食、広いレストラン2人だけ。ありきたりのマレー料理しかない、ピンビールあり。高所に有る為少し寒かった。ここは人によりけりだがLSにはむかぬと感じた。ここからKKに帰るときは街中のタクシースタンドまで行き、乗り合い白タク利用が好いと思います。今回4人の乗り合い2人で2250円だった。

# 中国・老人天国万歳

東北支部 498番 氏家 孝

今回は、8月19日から10月5日まで、四川省成都を中心に回りました。その間会員No. 80阿部功様とシルク・ロードを西安～パキスタン・カリマバドを21日間回りましたが、その前半9月8日までの1人旅の報告です。想いだしながらの記載で、文才もないので、箇条書きになりましたがお許し下さい。

8月19日9:25成田発中国国際航空で北京経由で16:00成都着、市内バス(10元)で市内へ北京から乗ってきた、中国人のガイド(別のツアーの引率者)にリntax(5元)でホテルまで行くようにセットしてもらおう。濱江飯店(185元・日本から成都のガイドに予約頼む)に落ち着く。バスタブの栓が無いので、サービスに直すように頼んだけど栓は持ってこなかった。そこで、ビニール袋にティッシュを入れ丸めて代用品とする。

8月20日都江堰・青城山ツアー(マイクロバスに約20人、200元)に参加、出発間もなく、こちらの運転手も若い女性で、美人の公安に捕まった(理由は携帯を掛けたのか、信号無視か不明)。でも、美人の公安は、運転席に近づき敬礼し、有無を言わず車外に連行5分ほど調書を取る(その威厳を感じる態度に感服しました。日本の警察も見習うべし)。都江堰は世界最初の治水堰で世界遺産にも登録されています。青城山は道教の本山?があるところ、どちらも雨又は霧で景色は良く見えませんでした。青城山の入山料は60歳以上で45元をガイドさんに戻してもらいました(少し得をした気分)。

8月21日九賽溝・黄龍ツアー(4日間で960元、30人乗りの大型バス)に参加、出発



青葉城の額



雨にけふる都江堰



世界遺産のモニュメント

時に各ホテルを回って客を乗せませんが、駅前の成都大酒店に120元の部屋が限定数量であるとの看板あり、帰ったらここにしようと思った。途中チベット寺院に寄りながら、19:30九賽之旅大酒店に到着。岳陽から来た左さん一家と「辺辺街」を散策、10元のマニ車を買ってもらう(日本人には出来ない、相手がほしいか

どうか不明だから)。布団は薄掛け一枚で寒いので、長袖・ステテコで寝る。

8月22日早朝荷物をまとめてロビーへ、すると荷物をまた部屋に戻して来いと言う。もう一泊するとのこと、そんなこと初めて知った(私の中国語も当てにならないと反省!)。7:30にホテルから約10分歩いて、九賽溝へ到着。中国人の観光客が大勢でした。公園の中は、アメリカのグランドキャニオンと同じで、一般の車輛を入れないで、園内の無料バスを利用する。昼食の水・菓子・缶詰のお粥などを渡される。左一家と行動を共にする、一番奥の原始林(標高3400m)迄行く。下りは小川に沿った小道を行くがなかなか車道に出ず疲れたが、黄緑色の湖がとてもすばらしかった。チベット民族館に寄り、シシカバブ・バター茶等をご馳走になる。夕方5:00にホテルに帰る。夜民族舞踊(160元)を見る。

8月23日朝食は饅頭・粥ですます。7:00出発漢方薬の店に寄り、10:30昼食、12:00黄龍入場。ここは九賽溝と違い移動は徒歩です。黄緑色の池が段々畑のように無数にあります。坂道と標高が高いために呼吸が苦し



(上)九賽溝 (下)黄龍

くなります。途中に酸素を補給(水枕1杯で1元)する小屋が数ヶ所あります。私たちは半分位で引き返してきました。16:30出発、途中事故で約1時間待たされる。21:30茂県のホテルに到着。

8月24日6:00起床、6:20朝食、6:40出発途中都江堰に寄り、私は先日見たので行かない。左家族と川岸の食堂で昼食17:00成都着、解散。成都大酒店に投宿(120元)。左家族も明日の列車しか切符がなくて、同じホテルに泊まる。左家族と一緒に「小chi(食)城」で夕食。ご馳走になる。

8月25日成都市公安局に行きビザの延長を申請。1週間で出来ると言う。左家族と昼食、ご馳走になる。2:00の列車で岳陽に帰っていった。明日の21:30に家に着くという。

8月26日樂山大仏・峨眉山ツアー(2日間、740元)に雨の中出発、大仏見学も雨。夜遅くホテル着。経済・標準・豪華と費用とホテルがそれぞれ違うので、最後は豪華の私は1人になる。

8月27日朝食を1人でフロントの前で食す。ホテルを出ると、すぐケーブルカーの駅だった。ケーブルカーと徒歩組に分かれる。階段を登るのにつかれる、お寺の門の前で徒歩組を待つ。溪谷の遊歩道を散策する(鳴子峡みたい)。

夕方成都着、ホテルを順和酒店(100元)に替えたが、汚なかった。

8月28日ホテルを成都大酒店に戻す。午後から動物園に行きパンダを見る。市内バスで空港に行くつもりが、2年前に雲南大理でツアーで一緒になった孔傑(名前、当時大学生)の住所が見えたので、バスを降りて探す。交番に行き住所を言うと、軽四輪で送ってくれた。訪ねる番地が見当らず、盲人按摩に入る。(2時間で30元)終わってから、また、住所探すが見つからず、そうこうしている内に、誰かが交番

に電話したら、パトカーが来た。また交番へ連行ではなく案内、パソコンで名前を検索すると顔写真が出る。2人同姓同名がいたが、別人だった。明日、市公安局に行き、そちらで調べてもらえとのこと。タクシーで送ってくれた。

8月29日市公安局に出向き、女性の係官に説明、彼女が孔傑の携帯電話に電話するとたまたまお母さんが出た。明日ホテルに逢いに来ると言う。タクシーで武侯祠（諸葛亮孔明の祠堂）に行く（こちらでも劉備玄德より諸葛亮孔明の方が有名？）。

8月30日孔傑のママがマツダの乗用車でホテルに逢いに来る（2年前に大理で写した私の写真をもって）。家は引越しをしている。本人（孔傑）はアメリカに居ると言う。ママの携帯でアメリカの孔傑に電話する。彼も喜んでくれた。昼食を孔傑の妹（10歳位）と一緒にということで、洒落た中華料理店へ。お手伝いさん風の女性に伴われて妹が来る。4人でお食事、おいしい中華料理でした（今まで食べていたのは何だったのだろうと思う）。ホテルに帰って休めと言う、夜は火鍋を食べに行くという。夕方迎えに来る。琴台路の火鍋屋さんに行く。今度はママの女友達と計5人。シャブシャブの鍋で、中の方は、南蛮で真っ赤（激辛）外側は少し辛さが薄いけど、それでも私には辛い。その鍋に牛肉、タケノコ、モツ、内臓のトゲがあるもの等を入れてゆでて、タレを付けて食べる、デモ辛くて味はあまり分からなかった。最後に甘い黄粉餅（安倍川餅みたい）、甘い中に餡を入れて油で揚げたお菓子が出了。これは美味しかった。ホテルまで送ってもらう。

8月31日荷物が多いのでホテルに頼むことにした（1日3元、高いけど仕方がない）。タクシーでネット屋（ワンバ）に行く。午後延長ピザを取りに公安局に行く。銀行で160元払う、約束の時間14:30まで待てという。16:00重慶行きのバス（86元）に乗る。23:30重慶着。タクシーでホテルに行き金薇

賓館180元に泊まる。

9月1日午後重慶市内観光50元に参加。重慶人民大礼堂などを見学、後は将介石の監獄ばかりで面白くなかった。三峡下り530元、夜19:00乗船、クリーに荷物運搬20元頼む。20:00出帆。2段ベッドが4個、8人部屋、遼寧省丹東の呉夫婦（最後までお世話になった）広州市の陳夫婦にお父さん、福建省の夫婦にお母さん、旦那さんは別の部屋で寝た。

9月2日朝方から昼まで停船していたが霧が晴れず、三国誌の飛張廟と白帝城には上陸しないで通過した。午後暑い中を豊都に上陸、丘に人の顔の建造物あり。

9月3日5:30起床、景色が三峡らしく？なってきた。7:30中舟（100人乗り）に乗り換え、小三峡（支川）へ。ここは川水も濁っていないくて、蒼い。さらに小舟（20人乗り）へ乗り換えて小三峡へ、途中、岸で地元民が民族衣装を着て二、三人で歌を歌っている。景色もここが一番良かった。16:30地元の歌劇を見る。80歳の老人が大きい声で歌っていた。20:00三峡ダムの工事現場（半分未完成）（110元）をバスで見学、その間、船は運河で下流に降ろす。夜中の24:00に観光は終わり、船を待つがなかなか来ない。

9月4日船着き場に屋台やお土産屋あり。長椅子に毛布も貸してくれる（有料）。午前1:30に船が来る。2:00出発、3:00就寝。4:30宜昌着下船、呉さんにスーツケース持ってもらう。武漢行きのバス（120元）に乗る。5:15出発、11:30武漢火車駅着。呉さん夫婦（遼寧省丹東）の乗る列車は今日は無いと言う。武漢に泊まり、明日以降の列車を待つという。私は、長沙行きの列車の切符（73元）を女性のダフ屋に+10円で買ってもらう（もちろん、交渉は呉さんを通してした）。湖南省の陳さんから電話あり、呉さんに何時の列車に乗るかを通訳してもらう。ここで呉さん夫婦と別れる（日本人ということで、かばってくれた

り、老人ということで荷物を持ってもらったりで、大変お世話になりました)。長沙行の列車は漢昌駅からでるので、1.5元バスで移動する。駅前で荷物を預けて、うどん6元、ネット屋3元、駅の待合室、水付きで10元。16:30発車(新空調二等軟座特快)、クーラーが効き過ぎて寒い、ジャンパーを出して着る。19:10岳陽で大分降りた。隣の小姐がカップラーメンを食べるので私も「王老吉」とバナナ2本、と点心ですます。外は雨である。長沙に着き、隣の小姐がスーツケースをもってくれると言うので持ってもらう。改札を出ると陳さん達が紙に「氏家孝先生」と書いて出迎えている。小姐に陳さんも大声で「謝謝ア!」と言ってくれる。奥さんと運転手(役所の下役)できていた。双峰県(町)まで高速で3時間あまり。入り口を間違えて、逆走するのではらはらする。24:00頃町に到着、5階建の5階が住居です。中学生の娘さんが1人。部屋は3ベッドルーム(内1室はトイレ、洗面台付き)、1リビング、台所、トイレとシャワーは一緒です。

9月5日、陳さんは40代、町役場の役人(課長か部長か?)、奥さんは中学校の英語の先生、娘さんも少々英語を、で電話では奥さん娘さんとの英会話で話すのが多い。朝ご飯は、ゆで餃子と小豆のお粥。小雨の中、仙人洞(お寺)に行く。30cm位の仏象(鋳物)をもらうが重いので陳さんの家に置いてくる。類底市のお寺に行く。若くて、偉い和尚さんにお茶をご馳走になる。1本の木の根で作った立派な茶台(卓)、布袋さんが彫ってあり、お茶屋と同じに茶碗や急須に熱湯を掛けて流せるようになっている。同じ根で作った座椅子が5、6個ある。和尚さんに町の中華料理屋で昼食をご馳走になる。和尚さんは外車(オウディ)に乗って来た。和尚さんは肉類を食べない方でした。池の有る公園で散策、日本から来た錦鯉が泳いでいた。ママの友達 came。夜は双峰の町で会食、石林と一緒に旅行した人達も来た。日本語の話せる友人も呼んでくれた(四国の観音寺町に1年間農業の研修に来ていたそうだ)。

9月6日朝食は餃子・小豆粥・味噌スープを飲む。陳さんの炬燵工場(地域の地場産業とし

て操業)を見学、工場長に営業(販売)が第一だと説明、パンフレットも一家団樂の写真や上掛け布団や毛布の上に天板を乗せた写真も必要だと説明する。午後、陳さん宅PCにSKYPEを1時間掛けて、ダウンロードする。夜はママのお兄さんも入っての夕食。お兄さんは明日早朝に私を長沙機場まで送ってくれるために来た。

9月7日3:50起床、荷物をまとめる。陳さん家族に別れを告げて、お兄さんの車で4:30出発、ママにゆで卵・びわ・パン・ヨーグルト等をもらう。6:30長沙機場到着。南方航空9:10発西安10:40着(1010元)。朱雀路の方堰温泉中心(120元)に宿を取る。タクシーで大雁塔(25元)まで、見学、塔に登るのに20元必要。陝西海外旅遊社の蘇江さんに、西安から敦煌・トルファン・カシュガルまでの列車代、阿部功さんと2人分(288元)を支払い、敦煌までの切符をもらう。敦煌・トルファン発の切符は、現地でもらうことになる。

9月8日タクシーで西安機場へ、タクシーは帰りは50円で良いと言うので待たせておく、13:25着予定のJAL便が20分早く着き、80阿部功さんと無事合流。

以下西安~シルクロード~パキスタンのカリマバドまでは阿部さんのホームページをご覧ください。



# バンコク生活基本情報

バンコク支部 423番 村上 安、幾代

## 通貨/パーツ

基本通貨はパーツで補助単位としてサタンがある。1パーツは100サタン。紙幣は大きいものから1,000パーツ(グレー), 500パーツ(紫), 100パーツ(赤), 50パーツ(青), 20パーツ(緑)の5種類。(現在はほとんど流通していないが10パーツもあるらしい)

硬貨は10パーツ, 5パーツ, 2パーツ, 1パーツと50サタン, 25サタンの6種類。2パーツと1パーツは似ているので要注意。

## 両替, 1パーツ = 約3円 (2006年2月)

ドンムアン空港の銀行出張書所は24時間営業。バンコク市内では各所に両替所があり便利。繁華街の両替所は夜遅くまで営業している。一番レートがいいのは伊勢丹の向いにある「スーパーリッチ」だと思う。いつも混雑している。ホテル内でも両替は出来るがレートは良くないので外の銀行の方がお得です。

## チップ

ほとんどのホテルやレストランがお勘定に10%のサービス料を加算していますが, サービス料が加算されないレストランなどでは通常10%程度のチップが適切。屋台や露天などではチップは不要。その他タクシーにはお釣の端数程度, ホテルのポーターやベッドメイキングには20パーツ程度が適切です。必要以上にあげすぎないことです。

## 言語

タイ語が公用語。ホテル, デパート, スーパーマーケット, レストランなどでは英語は大体通じる。街中の一般庶民にはほとんど通じない。日本語は日系のレストランや日本人観光客の多いホテルしか通じないでしょう。やはり, ここ

タイでも英語は強い。

## 気候

年間通じて気温の高い熱帯モンスーン気候。大きく分けて暑季, 雨季, 乾季の3つの季節に分けられる。暑季(3~5月)は日中35度以上にもなることがあり, ゴルフや外歩きには注意したい。雨季(6~10月)は毎日のようにスコール(短時間のどしゃ降り)がある。去年は日本の梅雨のように1日中しとしとと降った日が3,4日あった。珍しいとのこと。乾季(11~2月)は年間を通して一番過ごしやすく観光にはベストシーズン。朝夕はうすら寒い時もある。

## 付加価値税

ほとんどの商品やサービスには7%の付加価値(VAT)がかかる。旅行者はバンコクなど5つの空港にあるタイ国税局出張所(VAT Refund Office)で定められた手続きを行うことで, VATの返還が受けられる。

## 飲料水

基本的に水道の生水は飲料には不適。旅行者はコンビニで購入するか, ホテルの冷蔵庫に入っているものを利用。長期滞在者はレンタル浄水器や宅配(ミネラルウォーター)を利用している。ちなみにコンビニで売っているペットボトルの緑茶はほとんど加糖済なので糖尿系の人には要注意。

## 喫煙

タイの保健省により, 「喫煙できない場所」が定められている。

路線・観光バス, 列車, 船, 飛行機, 空調設備のあるターミナルビルなど。

劇場, 映画館, 図書館, 美容院, 薬局など

で空調設備のある場所。

飲食店，百貨店，医療機関，寺院，教育機関，博物館，展示場，官庁などで空調設備のある場所。

法令に違反して喫煙した場合，2000パーツの罰金が課せられる。路上でのタバコのポイ捨ても同様。スモーカーは要注意。ちなみに会員の0さんがポリスにつけられ素直に2000パーツ，旅行のベテランAさんは500パーツで勘弁してもらったらしい。

## コンセント

タイのコンセントの電圧は220V，50Hzです。コンセントは二又のものと三又の物がある。三又の場合ポルトが同じ製品でも接続アダプターが必要です。日本の電気製品を使う場合，マルチタイプ（110～220Vなどと記載されたもの）以外は基本的に使用できませんので要注意。かくゆう私も電気かみそりを2ヶダメにしてしまった。°° (>A<) °°

## 電話

旅行者は通常ホテルからかけるのが一般的でしょう。バンコクでは市内にかける時も市外局番0をつけてかけるので注意。（市内でも0-2123-4567）日本への国際電話は009（001より安い）のあと国番号81を押し，市外局番から0をとった番号を押す。

## 交通機関（BTS&MRT）

高架鉄道のBTSと地下鉄のMRTは旅行者にとっても滞在者にとっても渋滞の心配がなくとても便利な乗り物です。BTSと（MRT）はモーチット（チャトゥチャックパーク），アソーク（スクムビット），サラデー（シーロム）の各駅で乗換えが出来る。加えて単線の列車，長距離バス，路線バス，大型ソントウ（4トン），中型ソントウ（2トン），小型ソントウ（1トン），シーロ（軽4輪），水上ボート（渋滞無し）がひっきりなしに走っているので車が無くても問題なし。しかも安い（5～22パーツ）。

## タクシー

屋根の上に「TAXIMETER」と書いてある車がほとんどで，メーターつきです。料金は初乗り2キロまでが35パーツ。その後は400Mごとに2パーツもしくは1分ごとに2パーツ上がる距離と時間の併用となっている。なかにはメーターを倒さないで交渉で料金をふっかける運ちゃんもいるので，そんなタクシーはパスする。そして，出来るだけ綺麗なタクシーを選ぶ事です。その他，トクトク（交渉制軽3厘）やシーロ（交渉制軽4厘）が所狭しと走っています。

## 寺院観光

タイ国民は王室を敬い，仏教に対して強い尊敬の念を持っています。そのため，王室や寺院を見学に行く時はタンクトップやショートパンツなど露出度の高い服装は避け，きちんとした身なりと行動を心掛けましょう。サンダルは踵うけがあればOKです。

南国暮らしの会会員の皆さん，便利で住みやすい，そしてエネルギッシュな街「バンコク」を拠点に置き，東南アジアの国々やタイ国内（チェンマイ・プーケット・クラビ，ラヨン・パタヤ・ホアヒンなど）をのんびりと旅行されてはいかがでしょう？



# 私のフィリピン駐在記

東海支部 988番 永井 礼造

## はじめに

9月に入会させていただきました。皆様のメールを羨ましく毎日楽しく拝見しています。皆様、フィリピンの事は、沢山ご存知で何を今更と思われる方、又私の体験を、ご批判に思われる方も有るかと思いますが、あくまでも個人的な主観に基づいて書いていますので、どうかご了承下さい。通貨のペソとのレートは1ペソ2円として計算しました。

## フィリピン工場立ち上げと運営

私の担当していた仕事の一部を、海外に移動して現地生産する事になり、当時52歳の私は後何年も無いサラリーマン生活を“仕事で海外に行けるなんて最高”と自分から希望を出しました。

それからは、フィリピンの情報集めと英語・タガログの勉強の為に、毎晩フィリピンパブ通いをしました（純粋に）。航空券の手配からすべては、会社が行ってくれたので、私は全くわかりませんでした。

マニラ空港に着くと沢山の人がごった返している。指定場所で、ドライバーと二人の日本人と、ビレッジに向かいました。なに？ここは住まいの全体が鉄格子になっている。でも、4ベッドルームで、各部屋トイレ・シャワー・テレビがあり、NHKワールド・民間の一部も見ることが出来る。11月の始めなのに沢山のクリスマスデコレーションが飾ってありきれいです。エアコンは一對式？なので、やかましいが涼しい。旅の疲れもあって熟睡。

## SM（ショッピングモール）

生活必需品購入の為に、巨大ショッピングモールへ行きました。入り口には、ガードマンが銃を持っている。男性用の入り口は男性が持ち物チェック・ボディーチェックもする。時々大事

な所までタッチされる。中々厳しくて、子供のカバンまで中を確認している。でも、私の住む浜松には無い位の大きなショッピングセンターです。中にスケート場・映画館・ボーリング場等あり、1000人は座れるレストラン街も有る。特に毎月開催される30%~50%引きのバーゲンセールには、余りに多くの人で危なくて行けません。日本の経営者の方が見たら羨ましがれる位、沢山の人が集まっています。

## 車

ビレッジの中の道路の交差点は、手前5mに高さ10cm位の山が道幅いっぱいに出てくる。頭いい！！止まれの標識だと、見落とせば事故発生につながるが、この小さな山が出てくるとそのまま走ったら車の屋根に頭をぶつけてしまう。自然に、必ずスピードは落とすしかない。

又カラーコーディングデーが有る。何それ？車の渋滞緩和の為に朝7時から夕方7時まで車の末尾のナンバーによりマニラに入れずに決まっている。例えば末尾が0と1の車は月曜日この時間帯はマニラの外は運転しても良いが中は運転禁止、2・3は火曜日、4・5は水曜日、6・7は木曜日、8・9は金曜日と日曜日は全車両運転OKです。みんなこれに当たる日は、マニラを朝早く出発して、夜遅く戻るようにする（違反すると600円の罰金）。

渋滞も並ではない。会社まで、30kmの道を6:15分出発し、やっと、7:50分到着する。又時々4車線の道路を、警察が、片側ストップして一方通行に、変更する。10分~15分で反対方向の一方通行になる。これ、本当に渋滞緩和に役立っている？4車線道路は、すぐ3車線と反対が1車線になる。ルールがあつてないようなものだ。

## 乗り物

日曜日には、買い物にSMショッピングセンターへ行くが、ドライバーは日曜休み。まず歩いてピレッジを出る。さすがに南国の暑さが身にこたえる。トライシクル(サイドカー付オートバイ)にすかさず乗る。500m先で降りる(12円)。次にジープニーに乗ると5分位でSMに着く(10円)。

私はジープニーに乗る時は、なるべく、助手席に座る。そうすると降りる時も運転手さんが隣だからすぐ伝わる。乗り合いタクシー(メガタクシー)に乗る時は、バンなのに、助手席2人、真ん中の座席4人、後ろの座席4人の計10人乗せる。10人乗るまで動かない。エアコンは入っているが、この人数になると、暑くておまけに狭い。

そこで私は、二人分払う事にしている。二人分の席を確保するので窮屈ではない。(二人分で80円)。これでも、タクシーより安いし、タクシーだと、渋滞していると商売にならないから値段を上げてくる。(タクシーの運転手さん全員がこうではない)

## 仕事

組立ラインを作成する為に、エンジニア3人と合流、設備・部品等、何処で購入するかもわからない。日本からの梱包品を開梱する。木枠とか釘をエンジニアは大切に扱っている。釘は一本ずつ伸ばしている。再利用するつもりだ。

工具類・資材は近くの中国人経営の店で購入、3人のエンジニアはかなりの高学歴の人たちだ。作業台から電気配線まで、言われたことはこつこつと進めている。みんな未来の夢を持っているので明るいし何事も“出来ない”と、言わない。“やった事ある”かと聞くと“ない”との答え。彼らのプライドが許さないのだろう。器用に動くようにする。(長期間使用できるかは疑問)。

朝会社へ着くと従業員から“サー永井”サー永井“と呼ばれる。勘違いかもしれないが何か特別に気分が良い。買い物に行っても、店員から“サー”“サー”と声がかかる。一年も過ぎる

と買い物に行っても誰からも声がかからない。いつの間にかフィリピン人だと思われているようだ。事実、短パンにTシャツ・サンダルスタイルです。

## 食事

### 会社の食堂

皆、良く食べる。食べないと身がもたないかな?仕事の前に朝食・10時の休憩にジュースとお菓子・12時に昼食。ご飯を2杯に魚一匹とか、野菜炒めとか、チキン一切れ等、とにかく、ご飯の量がすごい。コーラ350mlは20円です。

### 日本人の食事

日本人の昼食は近くの日本人レストランへ行く。すべての定食あり・中華・ラーメン・(鰻・刺身含む)しかも中々おいしい。値段は500円。朝晩の食事はメードさんが料理してくれる。サバー(バナナのとんぶら)・カモーテ(サツマイモの煮物)・かに茹で・イカの煮物・ハムエッグ・カレーライス・パンシット(焼きそば風はるさめ)・鳥のからあげ・魚の煮物・ナスいため・味噌汁の中にはいつもオクラが入っている・その他、毎回この内の二品位が出てくる。材料は日本人が調達してくる(日本食材店・韓国食材店)。

たまに、現地のレストランに行くと、一人の女性がテーブルの横に立っている。蟹の身でも取ってくれるのかな?と思っていると、そのうちにハエが寄ってくる。すると、チリ払いを持ってきて、サラサラとハエを追い払っている。帰るまでずっと追い払っていました。

## 従業員募集

私の居たカピーテの特別区は、日系会社だけでも数十社、全体では、300社程の会社があり、かなりの会社で3交代勤務を取り入れており、10万人位の人が働いています。しかも国の決まりで、6ヶ月以上働くと全員正社員に登用しなくてははいけない。正社員になると結婚しようが子供が生まれようが、やめる人は居ない。

やめたら、次に働く処がないから……。いったん正社員になると、段々働きが悪くなったり、文句を言う事が多くなったりする人もいる。又、正社員は正当な理由が無き限り解雇出来ない。

就業規則も明確にしてあり、不良品を作ったり・私語が多かったり・能率が悪かったり・欠勤・遅刻が多い人も、解雇の対象になります。でも、お国柄でみんな明るく朝も7時半頃から、掃除を始めたり、よくはたらいてくれます。“生きていく為に必死”という感じです。特に女性は真面目で一生懸命、男性は……。

### 給料

正社員も、期間社員もみんな一年間に一ヶ月以上のボーナスが受け取れるように国で決まっている(13ヶ月と言う)。6ヶ月働いた人は0.5ヶ月以上ボーナスを受け取る。このシステムは、働く人全員に当てはまります。会社によってはこれ以上にボーナスを払う会社もあります。最低賃金も、国で決まっていますが、これを遵守しているのも、日系企業がほとんどで、だから、日本企業に勤めたい人は特に多いです。

現在、一ヶ月働いて12000円位の給料。この中から交通費2000円・住宅費1000円・食費他・お金なんか残るわけが無い。友人とも遊びたい・食事もしたい・映画も見たいだろうに、もちろん貯金も出来るわけがない。それでも田舎の家族に、2000円位仕送りをする。偉い!“だって田舎では仕事が無い。両親・兄弟沢山居る。だからお金送らないと家族が困る”と、天使のような事を言う(18歳~22歳ですよ)。でも、残念なのは、親も仕送りしてもらおうのが当たり前みたいに、思っている。

### 昇給で問題発生

この国の人たちは、みんなが、給料・ボーナスを全部見せ合ってしまう。評価としては良くて、バランスの調整しようとしても、“何故、上がり方が少ない。あの人の方が昇給が良い”とかで、退職してしまう。

“給料は前年度を下回ってはいけない”という国の決まりもある。又、納得出来ない労働

省に訴える。訴えた人は無料、しかも、自国民の利益優先だから、ほとんど、日本人は裁判しないで、負けを認めてしまう。人前でしかる・不平等・高慢な態度・セクハラ、すべて訴訟となる可能性大、皆様も気をつけてください。

### ボーデンハウス

一部屋6人位で住む。2段ベッドで1ヶ月1000円。田舎から、工業団地の周辺に働きたい人が集まって来て、住んでいる。25歳以上になると、勤めていない人は大体、田舎に帰る(働くところが無い)。カワイソウ。

### 遠足とパーティー

年に一度の遠足(アウトティング)には、ほとんどの会社が海に行きます(4月・5月が多い)。バスの中から大騒ぎ、歌う人・踊る人・クッキーを食べる人、到着すると短パンとTシャツで、みんな海に入ってしまう。沢山のゲームも行き、食事も、みんなお腹いっぱい。

クリスマスパーティーは、もっと盛り上がる。みんな写真を撮ってもらう事が大好きで、でも余りアルコールは飲まない。ちゃんとわかっていて、日本人を真ん中に入れて写真を撮ったり、中々のサービス。歌の次はディスコタイム、次は全員のプレゼント交換実施。会社からも全員にプレゼントを渡し、取引先からも、扇風機・電子レンジ・冷蔵庫を景品として、抽選でプレゼントしました。

### 誕生日会

誕生日はみんなが親切に覚えてくれていて、当日は朝から“ハッピーバースデー”と言って来る。何故かと言うと、誕生日の人が周りのみんなに食事をおごる・ケーキを食べてもらうとかの用意をする習慣になっている。

当日は私もレストランを借り、約100名に食事を食べてもらった。この国の不思議なのは、お金が無いわりに、マクドナルド等の一部を借りて子供の誕生日パーティーを実施している。

## 銀行

お金を下ろす為に沢山の人が並んで待っている。でも、私はマネージャーの所へ行き、書類を記入して即、給料を下ろせる。交換レートも常に有利にしてくれるし、定期預金金利も優遇してくれる。2000年の頃は定期預金金利は12%でした。最近は8%~10%、日本とは大違い。

## ホテル

ローカルプライスと表示プライスに、ビックリ。某ホテル8000円が4000円。日本企業がいつも利用するホテルも特別単価が出来る。日本人が予約しないで、現地の人に予約してもらうのも、安く泊まれる良い方法です。

## 食べ残し

こちらでは食事をして食べ残しはスープに至るまで、テイクアウトして家で留守番している人のお土産にします。ドライバーも持ち帰りをして、路上でうろついている子供たちに渡している。ムダにしないで大切な習慣に思えました。

## 若い女性

日本に戻ると、ミニスカートの女性が沢山いる。覗きとか痴漢とかのニュースも良く報道される。フィリピンの女性はみんなGパン姿です。“何故スカートをはかないのか？”と聞くと、やはり、“痴漢とか、レイプとか危ない”と答えが返ってくる。自己責任において、自分で痴漢に会わないように守っている。これも大切な事ではないでしょうか。

## 面白い経験

### 突然の大統領令発動

3日前位に急に大統領から祝日が出来る。当然生産計画があるので出勤してもらおうと倍の給料支払いとなる。働くみんなは、ご機嫌だが。この様な事は年に3日くらいあります。

### 突然の停電

雨の降った日などに予定も無く突然停電になる。当然仕事にならない。いつまで待てば電気が来るのかわからない。一時間も過ぎて今日は

工作中止！帰ってくださいと言う。帰り支度を始めると電気が来る。サー仕事・仕事（こんな事が年に5~6回あります）

## あの犬どうなった？

“フィリピンでは犬を食べる？”と聞く。私は見た事がない。でも、道路で車に引かれて、死んじゃった犬は、近くの人たちが集まって来てみんなできれいにかたづけしてくれました。もしかしたら・・・

## 健康診断

こちらの健康診断は珍しいチェックがあるそうです。日本と同じチェック以外に陰部の玉玉さんの重さを手で触って、調べる。（これで、重さや発育状態がわかる？）又 肛門に指を入れて確認する。チェックする意味が有るのかなあ。私なら、健康診断を途中でやめて、家に戻ってしまうよ。皆さん、どうぞ、お気をつけて。

## 本当に親切な警察官

帰宅中、途中で道路の横に車を停車させ。ドライバーが外へ出た。トイレかなと思ったが、いつになっても、戻ってこない。30分位して近所の人たちが集まってきた。警察を呼んだらしい（不審者と思われたのかも）。パトカーに乗って警察官のお出ました。事情を話し、パトカーの先導で私の車は他の警察官が運転して家まで送ってくれた。滅多に無い経験でおもしろかった。翌日、ドライバーに確認したら、私の下手な英語の為に勘違いして、悪い事を言われたと思い、頭に来て帰ってしまったとの事だった。でも、結果的に仕事放棄となり、解雇されてしまった。皆さんも、英語力は大丈夫ですか。

## クーデター発生

土曜日にマカティのホテルへ泊まりに行きました。日曜の朝9時にエンジニアから、連絡が入り、家に戻れなくなると困るから即タクシーで戻った。確かに各交差点には軍隊とか、警察官とかが、沢山居る。でも、家の近くのSMはいつも通り営業しており、お客さんも普通。ニュースでは、大々的に報道しているが、本当にクーデター？

## 助かった！海外旅行保険は大事

昨年2月に、ばかにおしっこの色が濃いので不安に思って、日本人診療所（日本人医師と受付事務員が日本人で常駐している）に行った。“肝炎になったから、安静にしている様に”と言われた。それなら、日本の病院へ戻ろうと、特別室の個室に一ヶ月入院、3ヶ月休んで完治しました。すべての費用は保険で充当。ついでに医者からのアドバイスとして南の国はA型肝炎・B型肝炎になる可能性があるので、予防注射を先にした方が安全との事でした。是非、予防接種を受けられてから行った方が良いかもしれません。

フィリピン人のフレンドリーな所がお伝え出来たでしょうか。3～4年後に、フィリピンにロングステイしたいと思っていますので、いろいろな情報等ございましたら、私のメールに送ってくださると幸いです。（特にセブ島を含めて）

メーリングリスト・ミニ情報  
異常気象？と初めての病院 (2006.2.22)

4 2 3 バンコクの村上です。

最近バンコクの天候が変なんです。急に雲がモクモクと出てきたなと思うとバケツをひっくり返したようなどしゃ降りの雨、これってまるで雨季の天候じゃあ～りませんか？日本でももの凄い大寒波に襲われてるようだし・・・やはり地球規模で異常気象？なのでしょうか。

話しは代わりますが、バンコクに来て早1年11ヶ月になろうとしています。初めて病院の厄介になりました。年末、朝方、多分10～15度くらいだったと思いますが超寒い(((=.=)))ブルブル日にゴルフをやってから首や後頭部に痛みが走り徐々にひどくなってきたので、素人考えでマッサージに行ったり温湿布したりしてたのですが（これが逆療法だった？）だんだん酷くなってきたのでついに我慢の限界となった次第です。

無保険なので日本人御用達の3大病院（バムルンロード、バンコク、サミティベート）は

バカ高いので近くの「タイナカリン総合病院」（中華系）に妻と息子（通訳）に付き添われ行ってきました。息子が受け付け用紙に必要事項を記入、症状を説明して血圧を測定。そしてたら何と、180/125もあるじゃあ～りませんか。一同( ; ) オッドロキー！

気になる料金は診察、一週間の薬代（降圧剤、痛み止め）で560Bでした。えっ！結構安いといいながら帰路に着きました。そして昨日が2度目の通院でした。早速血圧測定。161/100でした。短期間で急には下げないらしいです。（昨日の夕食時、オーストラリア帰りの磯崎先生とのお話です）またまた気になる料金ですが、診察、2週間の薬代（前述のほかに+2種類）で1,050Bでした。これが3大病院だったら、おそらく3、4倍はしたでは？と思っています。（3大病院に掛かった人の話を総合すると）途中、たまたま家主と会ったので病院の話をしましたら、この病院は「ペーン（高いの意）」だから一般のタイ人はあまりかからないとの事でした。

「同じ位の距離の所にもっと安くていい病院があるよ」と教えられたので、首や背中中の痛みが思わしくない時は、その病院に行ってみたいと思っています。そしてまた、御報告したいと思います。

まあ、タイ語ができなくても英語さえそこそこできれば、通院だけなら無保険でもそんなに心配しなくてもOK牧場なのかな・・・と思いました。入院とか手術などになった場合は別でしょうけど。



# ヴェトナム

## L S 目的での海浜リゾート地下見報告10/2～10/30 '05

関東支部 696番 加藤 明



### 3 大海浜リゾート地：

- 1 - ニャチャン
- 2 - ムイネー、 2 - 2 ファンティエット
- 3 - フーコック島 + 1 ( - 4 ブンタウ)

**海の透明度：** ニャチャン、(ファンティエット) ムイネー、フーコックの順に都会生活からは遠ざかり海の透明度は高くなる。

**結論：** 合格は ニャチャン！ 賃料、飲食も合格 ゴルフ好きにはファンティエット他

ニャチャンとフーコックへの飛行時間はホーチミン(以下HCM)から1Hぐらい。ムイネー等へはバス(約6H～8H)か鉄道のどちらかで行く。ニャチャンはヴェトナムのワイキキである(渚の長さは5km対3km)カムラン空港からダウンタウンまでは車で約45分かかかるがその間、車窓から見えるリゾート地予備軍のビーチ数に将来が見えて目を見張る。35ものプロジェクトが進行中と聞いて開発地や建設中のHTLに納得した。

**ムイネー/ファンティエット：** ムイネーはHCMか

らブンタウの次に近いリゾート村。バスで4H1泊付\$30のツアーを含めて欧米人達に人気は高い。ニャチャン程遠くなくビーチはブンタウよりもきれい。隣のHTLや周辺のレストランでも食事をして楽しむと良い。町というか村には運転手付ジープ5時間\$14で数名所を案内する店が何軒も呼び込みをしている。これはお勧め、と言うよりタクシーがない同然で足がいるから観光法は他にない。バイクタクシーや貸しバイクもあるが危険で薦められない。赤白2色2箇所の砂漠も観光の内だが私達はキャニオンのせせらぎを裸足で歩くツアーが童心に帰れて特に楽しかった。ムイネーとファンティエットは新宿と池袋ほど離れた約30kmの同海岸。魚醤町の巨大な海岸が箱庭のように見降ろせた場が印象深い。

**ファンティエット**海辺の高級HTL NOVOTELには18ホールのゴルフ場とカジノがあった。ビーチは美しく、食事も合格、ライブバンドも楽しめたが部屋がやや小ぶりゴルフ以外の利用は薦めない。

**フーコック島**はナイトライフもいらない、ゆっくりしたい、そんな人には絶好。世界でも屈指の透明度は胸から下は足の指まで見えた。渚は20km鳴き砂海岸もあり実地踏査も兼ねて日傘を射して実に8kmぐらいを走破した。ホテルもなく誰も泳いでいない海岸ではあったが一部生活排水の流れ込みを目撃した。観光局などがまだない国だから仕方ないがこれも原風景というべきであろう。台風はないのか漁師の家は非常に粗末なものだった。タクシーは少なくて割高だが小島だから仕方ない。魚醤と胡椒で特に有名。余裕が出来れば又訪れたい島であった。

**-4リゾート地：**ブンタウはHCMから高速船で1.5H まあ熱海といったところ、海の色は江ノ島並

であった。皆さん泳がず浜で楽しくやっていた。土曜夜にはドッグレースがある。初めて見た広い本格的なギャンブルレース場で一喜一憂の子女の多さに驚いた。行くなれば土曜日がお薦め。茜色を背景に漁船が浜に着き網を降ると漁師の妻たちはまだ跳ねている小魚を拾い、求めて来たおかみさん達に分け与える、ブンタウ早朝の海岸で見た実に心癒される生活風景であった。

**他のリゾート地-1：ダラット**はバスで行けて湖がある軽井沢という感じが新婚さん達に人気らしい。次回訪問してみたい高原のリゾート地である。

**-2 中部のリゾート地：ダナン**は19世紀にできたリゾート地である。今回調査を割愛したが世界遺産があるホイアンに近いので次回訪れてみたい。

**5箇所のリゾート地を一巡してHCMに戻った**私は、総合的にニャチャンを評価した。HCMとニャチャンは丁度東京と名古屋ぐらい離れてはいたが、この際、旅行に不適な雨季のニャチャンも一見し、居住環境の詳細については今一度調べてみたいと思って、再度のニャチャン訪問を決めた。



上は10月8日雨季前の青い海。浜に人なく通りに車は極少。雨季10月22日、川の赤砂流水が海を茶に染めたのも見た。青に戻るのは12月と言う。船で10分のダイビング地域は年中青い。

**賃貸物件調査法**：現地造船所で働く技術系の社長さんが社内を案内してくれた。彼は寒い日本から来る奥さんとの暮しのために、3人の秘書の一人に住まい探しを命じた。その場に居合わ

せた私にとってこれは願ってもない調査のタイミングであった。翌朝、HTLへ私を迎えにきた秘書の名はGiangと書いてギヤンと読む。3人中で一番おきやんである。今日一日vtm人とわが目的の住宅市場調査ができる幸運に感謝した。

**交通マナー**：彼女のバイクは傷んだ100ccのホンダであった。後座に私が座ると彼女はHTL前から車道を逆方向に走り出したのである。驚いた私は「ポリスが来たらどうする？」と言えば「この先左行くウー」と「ポリスにお金渡すウー！」とが返ってきた。こんなひどい逆走車にさえ向かってくる車は避けて通すのである。つまり皆がやっていることなのだ。この種の違反車をいたる所で目撃できるから注意してみるといい。こんなお国柄だから車は極少なのに死亡事故は全国で1日平均30人、昨年日本でさえ16人だから多すぎる。バイクがスロー走行で救われるがメットの不着用は見ていても怖い。道を渡る時は地元の人について渡るようにした。

**賃貸物件**：一軒家の場合も大家との直商談である。一年とか半年とか長期を望まれるが月貸しもOKするようである。夫婦には大きすぎる新築豪華US\$500から\$400手頃な\$300,\$250,駄目な\$150も見た。全部至便な中央部で新築以外は決まれば引越しますという在住物件が多い。

**ミニHTL**：翌日私はミニHTLに絞って一日中徒歩で見て回った。ミニHTLは朝食なしが多い。あってもV麺のフォーかEUR BF程度が多かった。

室は大小あり清潔、サイズ、ベッドの質、シーツの替え頻度などは値段差となる。NHKは入らない。新しくて広いと\$20~35、古くてエレベータなしの5階は2階より安い。眺望付きの\$7で6Jもの広いバルコニー付もあった。これとバス停前で海浜眺望付きの美麗室\$25が私は気に入った。

**高級ホテル**は朝食付、NHKあり、部屋サイズ、バスタブ付、プール付、大した眺望室でなくても約\$90である。交渉で\$60になったとしても長居は出来ない。新旧と築計画中物件が多く、住には不足ない街と言えると思う。

**ニャチャンの欠点**：元仏領だけにCTも腎移植もありだが一般医療とインフラのレベル、蚊はいなかったが小虫に自分も他人も足首を刺され

ていた、東南アジアの暑さとがたがた歩道、ひらかなOKのInt.net店がまだ少い、外人値段等。  
**ニャチャンの長所**：5kmの浜と澄んだ空気。海浜散歩道,47万人市,舗装よし,日本食材・店あり、治安、英語が通じ易い、至便地にミニHTLと短期貸し賃貸物件が多い、魚菜果実,酒が良質豊富安価で海鮮レストランが多い,世界中から人が来ていて友人を作り易い,中央部は市バスでの移動可,トラブルが多くてハノイのシクロには乗ると「地球の歩き方」にも書いてあるがここではそんな経験はなかった,シクロは大体D10,000約¥70,私は気軽に足として使っていた。

**旅行によい季節**：未体験だが1月～4月とある。雨季は10月～11月。雨のない早朝まだ薄暗い4時半には海岸の遊歩道を地元人がトレパン姿で歩き、照明付広場でバドミントンに興じていた。5kmの海岸に沿う遊歩道はニャチャンの主役なのか、クリーンで手入れもよくて素晴らしい。水平線上には一晩中いか釣り船のあかりと天には星が、競い合って明け方まで煌めき続ける。ニャチャンの魚貝はハノイにも出荷されている。又ここはHCMやハノイよりも月給が10～15%安い。衣食住の物価からも暮らし易いのであろう。



**現評価と将来性**：あとがきで触れたがニャチャンを訪れて将来性を感じない人はいないと思う。事業家も事業も動いているから、私は数年後には日本ニャチャンの5時間直行便が出ると思う。澄んだ空気が吸えて、青い海と白砂で遊ぶ,海岸辺りで安く暮らせるアジアと私は未だ出会っていない。不便嫌いの私は47万人市の中央至便

地域で、150度の眺望付ミニHTLが、眺望なしの広い貸家で、月当たり15万円あれば夫婦が暮らせる当地をLS適地として評価したのである。魚貝菜果の鮮度は高く『御父参』や『沖縄』の日本食も良心的。横には清潔で旨い中華風麵屋が先月開店した。数箇所の生鮮市場も楽しい。現地産の日本酒は高いが、麦焼酎が飲めて格安、世界中のBEER,WINEと酒類も安いのが嬉しい。その上HCMやハノイにいる子悪党も,ここには極少と聞くから女性や夫婦連れには気が休まる。ハノイ：ニャチャンの雨季がハノイは一年で最良の2ヶ月とある。ヴェトナムの大きさを知った私はニャチャン調査を終えてハノイに飛んだ。



**ハノイでの実話**：これは次頁の谷津氏から注意事項として聞き、「ふーん」「へー」ぐらいに思っていた事柄が、わが身に起きた実話である。彼の忠告の1はハノイ市内でHTLへ行くために乗る「物」がわざと同名で無関係のHTLへ案内することがある。2はハノイの空港タクシーはごまかす悪が多い。3はハノイのシクロには乗るなであった。

空港から安いミニバスに乗るとヴェトナム航空ビル前に到着した。待機していたバイクタクシーに「クラシック-1」を地図上で示して私は座った。到着したのは「クラシック」であった。このことだッ！と思ったので降りずに本家まで走らせた。ご参考までに記したい。この他にも「プリンス」は5つ。「カメラリア」「ユース」等同名を名乗るHTLが堂々と地図に載っている。

その後知りあった筑波大生と博物館迄2台のバイクタクシーを使ったが、降りたら約束の2倍額を要求してきた。これには大声で「NO!, WHY?!」と通行人が振り返る程の大声で、僕たち二人は対応、毅然として「NO!」を譲らなかった。通行人や回りの人にも彼等の不正は判っていて二人は遂に野次馬の白い目に耐えられず、しぶしぶ受け取って立ち去った。大声効果であった。

「ホーチミンのひったくり(バッグなど)」「ハノイのぼったくり」と言うのだそうである。

訪れたい情報どころ：在V邦人の情報交換所HCMの高級地にあるカフェ「ひろば」は溜まり場機能のほかVISA取り代行や安情報も表示してあった。頼りになると感じた。古本屋に入ったと勘違いする程の無料・貸本が壁を埋めていた。有料Int.netもあったので私は利用した。日本では飲めない種類のフレッシュフルーツジュースが大変においしかった。お薦めである。

Addは17/6A LeThanhTonStreet, 日本料理店『紀州』の隣だから判り易いので初めてでも行ける。

危険情報ほかを得た所：旅行社 TNK travel

ここで予め教わっていなかったら私はまず騙されていたと思う。感謝している。邦人も6人程が勤務、所在地は230 DeTham Street, タクシーに「デタム」でOK, 角にロッテリアがある有名な通りにある。朝7時から夜10時迄の開店。元気な20代達であった。Em: info@tnkjapan.com Website: www.tnkjapan.com TEL(84.8)8378276 (親切青年マネージャー谷津氏: 0909501595)

参考：正式国名：ヴェトナム社会主義共和国 フランスパン, コーヒー, プリン, デザートの旨さは評判で、都市は欧米の旅行者で満ち、英語OK。世界の品でない物は高級車ぐらい。ビールがレストランで約¥60、仏製ナポレオンポケット瓶が政府直営店で約¥100。デジカメ用M社の充電器(説明書日本語)が政府直営のデパートで円札でしかも日本の半額で買えた。税制の差である。だがHTL始め値段は二本立て、外人用US\$ 価と何分の一かの現地人用DONは街の果実一個から適用、したたか国である。ハノイではVTNM人にさえ訛りで判断して高くすると言う。又、

この国で35歳以上は今職が無いから貯金してバイクを買い自営するしかないといふされた。

土産物店の店員給：1日約\$1。だから月給は約\$30ほどである。英語が出来る営業や秘書でも\$80から高給取りで\$150ぐらいのようである。人口(万人)：ホーチミン611(実数800), ハノイ300(400), フェ110, ダナン90, ニャチャン47万

#### あとがき

正直なところ、私達にはVTNMとニャチャンに関して、これ程までの期待はなかった。それもそのはず、HCMに住む邦人が「ここ半年かなあ日本人がわりと来だしたのは」と言う事を聞いて情報量にも納得した。

ニャチャンとその周辺の開発もここ1,2年の変化と記述があった。一年中サンゴ礁でシュノーケリングを楽しめる島々が点在、それら沖の4, 5島へは船で僅か10分で行けて、ゴルフも出来るとあっては私も今度こそは初潜りと素振り練習をしない訳にはいかないだろう。

一番大きいチェー島には年内に全長3200m高さ50Mのロープウェイ工事がスタートして、ニャチャン湾の全景が見られるようになるという。また来年、島には進行中の35プロジェクトの一つ、ゴルフ場も完成する。

HOT泥スパや島めぐり、ニャチャン川の船ツアー、少数民族村や陶芸村、コーヒー園、中部の三高原ツアー等に加えてインパクトの強い文化と観光名所が完成することになる。だが私はまだ快適シーズンの体感湿度を知らない。でも暫くなら居ても飽きないかも知れない。

チェー島には東南アジア最大のプールを持つ5つ星HTLがあり、中では先見の資生堂が既にスパを営業中である。ニャチャン市内はサイズからも見る所は少ないが、この浜に飽きたら欧米人も来るロマンチックな新婚向き極上リゾート1泊\$400~1200というニャチャンのサテライトビーチが近くにある。まだ知られず敷居高い穴場と言える。貯金して行ってみたいものである。

## おまけ

ヴェトナムの場合も国際線は日本で買い、国内線は着いてから買うのが安いと教えられた。私の場合は日本で到着日の宿だけを数泊予約している。翌日からは情報活動としてまた趣味と実益を兼ねてホテル室を見て歩くのが私達の常である。余程の理由がない限り同じHTLに1週間いることはまずない。アジアは特にHTLが雑多、これを知る事によって私は早く広く、人々と土着文化、土地柄と土地勘を習得してきたからである。

また私は欧米人達を旅の大先輩だと思っている。アジアは特に彼らが多くいる所を見て歩くようにしている。

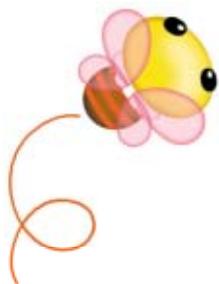
並ぶラーメン屋が旨いのも同じで、彼らの集まる所は穴場で安い場合が結構多い。高級HTLには日本人たちが泊まり、2ランク下の穴場HTLには彼らが泊まると言われているがそれはここVTNM人業者の話でもあった。

ところがである、超高額HTLに泊まるのは一般的に欧米人が多い。だからやはり彼らのする事は底知れない。

私も近年になってやっと会員諸氏の真似をしながらの旅三昧を実践中ではあるが、旅というものには未だまだ私向きには及ばない、奥の深いものだと思っている。

## おわり

(記事内容と掲載数値は出稿前、現地に正誤を確認済みです)



## メーリングリスト・ミニ情報

### 年金坂について考える (2005.12.31)

NO 18のペナン島の木村です。

日本の年金事情は年を追ってますます厳しくなっています。日本からペナン島にロングステイの視察に来られるご夫婦も一様に不安を口にします。

ペナン州のクリスタル ゴルフ リゾートの8番ホールに「年金坂」と言われる坂があります。妻恋坂、たばる坂、無縁坂、大阪、おっと、これは大阪府ですか?? 日本にも名のある坂はいろいろあります。「越すに越せない年金坂」「越すともらえない年金坂」歌の文句じゃないけれど・・・。

ペナン島の日本人ゴルファーに有名な坂です。ティーショットから壁のような打ち上げのきつい坂があって、10回のうち1回くらい、やっとこの坂を越えると、急に視界は大きく開けて、山々の景観と周りには見事なお花畑、後はゆったりと、ここで、ふうーっと息をつきながら下りに入ります。年金坂を無事に越えることが、この難しいハンディキャップ1のホールを乗り切る秘けつなのです。

「年金坂」の由来は考えますのに、これを見事に越えると、「年金受給者」のわりに俺若いんだってことになりまして、貰っていて越せないと、「年金少ないからあんまりうまい物食ってないからなあ」ってことになるのでしょうかねえ?? それとも、越えると「あいつ、だいぶ前から年金貰ってる歳なのになあ」・・・てなことにも。ふっ.ふっ.ふっ。

人生の急坂をやっと乗り切って顔に刻まれた、深い皺を鏡で見るようになって、そして年金を貰うようになって(少しだけれど)、後はお花畑の極楽浄土を越えるともうそこには、～が待っていると言うわけでしょうか???

会員の皆様、ペナン島に来て是非、クリスタル ゴルフ リゾートの8番ホール(年金坂)の年金受給資格に挑戦してみませんか?(会員の石原彰太郎さんからすこし宣伝費をもらおうと。)年金坂の8ホールは私なずけて別名、人生坂「私達の人生」のように見えて仕方ありません。

# 南洋の島 ロタ

関東支部 885番 小山 澄男

1月11日NWのサイパン行きの機中で昨年末のサロン会場で会長・理事長より1ヶ月はもたず2週間ぐらいで帰国するよとの声が思い出され不安一杯の気分。乗客は満員、殆ど遊びの人達、隣席の男性客だけがビジネスと思われ話しかけると、ANAの子会社で15年前150戸の建売別荘の管理会社の社長で、最近のサイパンの様子を聞くと別荘の半分は所有者が日本人から台湾人へ移譲され、観光客も日本人から韓国人・中国人へ移行していく韓国・中国・台湾から直行便も増えている。知的労働者はフィリピン、肉体労働者はベトナム。

ロタ島へは行く人はほとんどいない。案の定、ロタ行きのプロペラの客は5名のみ。20分強で着陸、ホテルの迎え車で10分弱。建物が2軒ほど、道路の両側は芝生で整備、椰子の間から海が見えだしたらロタホテルに到着。支配人の出迎えでこれからの日程の打ち合わせをする。LSの客は初めてとの事。展望の良い1階の部屋を案内される。35㎡の広い部屋で窓が全開で開放感有り、南洋風のスタイルカーテンで椰子の間から海が眺められ、自然一杯室内には冷蔵庫・電気ポット・テレビはなし。

早速ホテル前の海岸からテトビーチまで散策に出掛ける。テトビーチには2店のビーチパラソル屋があり朝7時から浜の掃除をしてパラソルとデッキチェアをセット、1店で20セットを設置16時には撤去、トレーラーで帰宅、リンソン村へ。費用は1人\$5、長期契約で値引き交渉成立前金を支払う。ホテルから約10分、歩く人はロタホテルに宿泊してる人のみ、他のホテルには車で送迎、リンソン村からはレンタカーで来る。滞在中小生1人のみが3日間それ以外でも10人位、白人女性が1日あとは全部日本人殆どカップル、1人は小生のみ。日本人の女性は痩せすぎでビキニは貧相対して男性は肥満タイプ、観賞していると女性はまず日

焼け止めクリームを塗ってチェアに坐ると煙草を吸い始める、するとパラソルのおじさんが空き缶を持って吸殻の処理を依頼する。マナーの悪さに小生恐縮する。ビーチは巾が500米ぐらい沖へ10米ほどで半身、そこから海底が岩礁サンゴ礁に続く、熱帯魚は岩礁の境付近に数十種類が近づいてくる。唯一の友人です。ホテルのウェイトレスにくずパンを毎朝頂戴してホテルの前の岩礁の小魚とビーチの熱帯魚に餌付け、これが毎日の日課です。ビーチの海流は北から南に横流れで強い時は立ってられないほど、よってビーチの北端からスノーケルすると泳がないで南端まで行く、山本氏は力強いクロールで潮流に向かって泳いで行く上手です。

## 小生の日課は

カーテンを開けた儘、戸を開けてと思いましたが網戸がないのでガラス戸は閉めたので夜中に二晩暑くなった為クーラーを付けました。朝空が明るくなると椰子の葉が風で揺れ雲が流れるのをベットから眺める気分は最高。

7時過ぎに洗面してホテル前のビーチを散歩する、約1時間後食堂で朝食トーストと紅茶。食事をすませて部屋に戻る、ベランダで読書して又ランチ前の散歩に出る。簡単なランチを食べてビーチタオルとビニール袋をフロントで受け取りテトビーチに向って左側の芝生を歩きながらゴミ拾い。集めた袋をパラソルのおじさんに渡す。スノーケルを3回、日光浴をして16時頃帰路は右側を歩いてゴミ拾い、時々通る車の運転士は皆手を挙げて挨拶をする。ホテルに戻ってプールで約1時間水泳、部屋に戻ってシャワーを浴び海着、下着を軽く洗って干す。空気がきれいだから汚れない。

ディナーはメニューを一通り食べて最も口に合う鶏のカラ揚げか海老フライ・生野菜サラダ・オクラに赤ワイン1本飲んで一日が終わり。

## 島の概況

原住民の選挙権を有する島民が約500名・日本人25名・知的労働者は比島人・肉体労働者はバングラデシュ人。カレッジ卒業者の給料は約3万円・税金は消費税10%（食料品除く）、所得税が1～2%、固定資産税その他はなし。

村には銀行・郵便局（配達はしない）・役所・学校・病院（レントゲン技師がホテルのウェイトレスを兼業・それだけ病人が少ない事）・スーパー・ホテル・レストラン・ダイビングショップなどが区画整理された町に点在。交通機関はタクシー・バスもなく車社会（ガソリン リッ

ター¥50程度）治安は山本氏と一緒に食事に行く時鍵をしないで出掛けるくらい良い状況。年・日気温が10度以内で最も住みやすい処とギネスに載ったとの事。水が約500米の山から沸水が出てロタクリスタルとして他島で販売されている。

情報を提供して戴いた金子・阿部・在口タの山本諸氏に感謝。来年も元気であれば再訪を。体重も5kg減量・毎日ワインを飲んで減量はバンザイです。都会志向の方は不向きです。ロタブルーの海だけです。

### メーリングリスト・ミニ情報

#### マレーシア マイ セカンド ホーム ビザの大幅改定の件 2006.1.1

昨年末（12月27日）にマレーシア政府よりマレーシア マイ セカンド ホーム プログラム（MMSHP）に関する大幅な改訂が発表されました。以下にその内容を取り敢えず纏めましたので、ご参照下さい。新しい条件の実施は2006年1月1日以降の申請に適用されるそうです。

1. 必要条件：1）マレーシアの銀行にUS\$75,000（880万円程度）の定期預金をする事。夫婦の申請でも単身でも同じ額になります。定期は1年物でよく、1年後は取り崩す事が可能で、それで車、家を買う、医療費を払う等も可能です。収入証明で取る事は出来なくなりました。2）健康診断：これは必要でなくなりました。但し保険申請で健康診断が必要になるケースが考えられます。3）医療保険：これは今までの通りマレーシアの保険会社の医療保険に加入する必要があります。
2. 滞在許可の期間：今までの5年から10年になりました。10年後の更新も可能です。
3. 申請場所：マレーシア観光省の本部にこのビザ申請の窓口が出来てそこで受理されます。
4. 他の変更点：1）保証人：これも必要でなくなりました。2）マレーシア観光省はペナン支局でも申請を受けてくれると言っています。
5. 留意点：1）既にこのビザを取得した人は別に追加の定期預金をする必要はありません。2）観光省では、既にビザ取得した人は、更新時に定期預金を積む必要は無いと言っています。

このビザの変更に付いては、今年の7月頃にマレーシアのナジブ副首相が発表しましたが、やっと最近それも突然具体的内容が示されました。観光省本部と移民局に確認しましたが、未だ現場サイドでは詳細な手続きが明確化されておらず、かなり混乱しています。本年1月1日から実施と言っても当初はかなり混乱が続くと思われます。また詳細の内容がはっきりしましたら連絡致します。ペナン支部 石原

#### マレーシア マイ セカンド ホーム プログラムの新条件 2006.4.8（抜粋）

現地サイドから確認情報として以下の様に連絡致します。4月1日より ビザ（MMSH）申請の条件が変わり、新条件は下記の通りです。50歳以上の申請者は旧条件とほとんど同じで、1年後定期の一部が解約可能になった点がむしろプラスと思います。

##### 50歳以上の申請

所得証明又は、定期預金での申請どちらかです。\*単身、夫婦にかかわらず

1. 毎月の収入がRM10,000以上を証明すること、又は、RM150,000の定期預金をする事。（定期預金の場合は1年後に不動産、車を購入する又は、株式等に投資する理由があれば解約が可能です。但し、RM60,000は、滞在中の保証金として定期預金を続けることが必要です。）

その他 \*医療保険への加入は従来通り、マレーシア国内の保険会社の医療保険に加入しなければなりません。  
ペナン支部 石原

# 悲劇再び、バリ島自爆テロ事件

バリ在住 593番 小林 繁之

2005年10月1日、土曜日、午後8時、惨劇が再びバリ島を襲った。同時多発自爆テロ、バリ島にとって正に悲劇再びである。

その時私はチャンゲーの我家を訪ねてくれた東京の友人と彼の家族と共に、デンパサールの市内を走るメインストリート、テウク・ウマル通りの外れにある一軒の瀟洒な中華料理店にいた。バリ島が初めてと言う彼等の依頼に応じて、この日、昼間はバリ観光の定番コース、チェルク、マス、ウブド、キンタマーニを一巡し、夜はクタ最大の繁華街で友人の娘さんが希望するブランド品ショッピングを済ませた後、その地域で最も美味しく安いレストランで食事をする予定であったが、スケジュールを消化した帰り道、友人の希望で予定を一つ追加しパトゥブランの村でケチャダグス見物に立ち寄ったため時間が無くなり、クタ見物を翌日に回し急遽夕食をこの店に変更したのであった。

丁度この日はガルンガン・クニンガンと言う島全土を挙げたヒンズー教の祭りのため、役所も一般企業も半月近い休暇に入ったばかりとあって、外国人観光客は殆ど立ち寄ることの無い店内は富裕層に属するインドネシア人家族で賑わっていた。ようやく4人掛けのテーブルを確保出来て食事が始まった頃、表通りを頻繁に救急車が走り去り人々がバタバタと一方向に駆けて行く様子が、入り口のガラス戸越しに見えたが、火事か？交通事故か？何れにせよこのレストランの近くではなさそうだ等と話しながら、次々に出てくる料理に舌鼓を打っていた。

食事を終えて店を出ると救急車の往来は少し減った様に感じもするが、人々は未だ早足で駆けて行く。その表情から事態が只事でない事が直ぐに理解出来た。中の一人を呼び止めて何事があったのかと尋ねると、彼は歩を止めることなく「8時だ！テロ、爆弾テロだ！クタのラジャ

スだ！！」と叫びながら駆けて行った。

ラジャス！！の声を聞いた途端、私の脚は棒の様に硬直し一瞬動けなくなり血の気が引いて行くのが分かった。このラジャスと言う店こそ、予定に変更が無くケチャダグス見物に立寄らなかったら、私と友人家族の4人は確実にその時間には、このラジャスで食事をしていたのである。又、私のショックの原因はもう一つあり、レストラン・ラジャスのオーナー・ルディとは親しい友人であり、彼の奥さんとも、時々一緒に食事する等の交流があり、彼等の安否も非常に心配になったのである。

脚に力が入らない状態ではあったが、やっとの思いで気を静め携帯電話で我家の従業員に連絡を試みたが不能であった。少しでも情報を得たくてクタの私が懇意にしているホテルにも掛けたが全く通じない。事実確認のためにラジャスにも掛けたが当然不通である。今出て来たばかりの店に飛び込み電話を借り、同じ事を繰り返したが結果は同じであった。この時は既に街中の通信網は完全に遮断されていたのである。

友人家族は自分達が間一髪の危機的状況にあったことへの実感が余り無い様であったが、彼らをタナロット近くのホテルに送る途中、既にこの時、市内から郊外に向かう全ての道路に配備されていた緊急捜査網に二度程止められ、厳しい検問を受けたためにホテルに着く頃には彼等も状況が理解出来たらしく、かなり緊張している様子が見えた。

大分遅くなってしまったがホテルから帰宅すると自宅でも一騒動が待ち受けていた。

私が家に到着すると丁度、従業員のア리가バイクに乗って出掛け様としていたところであった。こんな夜更けにどこへ？と訝っていると彼は私の顔を見るなりヘナヘナと座り込んでしまった。スタンドを立てる事を忘れて手放したため、

エンジンをかけたままのバイクまで倒れてしまう有様だった。

我家には今、このアリと、私が通う学校に入学を世話した彼の息子とその友人の二人の学生、それに、私と同じ学校に通うために東京から来ている留学生と私の計5人が住んでいるが、朝、私が家を出る時に一日の行動予定を言い置いて出掛けたため、夜のテレビニュースでラジャスの爆破テロを知った時、確実に小林が被害に遭ったと思い込み、パニック状態に陥ったと言う。特にアリは、ラジャスと私の関係（後述）を非常に良く知っているため人一倍心配を募らせてしまったらしい。

心配を掛けたことを皆に詫言自室に入りテレビをつけると、深夜にも関わらず未だモウモウと煙が立ち込める事件現場の映像が繰り返し放送されていた。

爆破現場は、多くの高級ブランド品を扱う商店と洒落たレストランが軒を並べ、外国人観光客に最も人気が高いクタスクエアの中心にあるレストラン・ラジャスと、そこから10数キロ南に位置するジンバランの浜辺で、新鮮な焼魚（イカンバカル）が売り物のレストランが100軒以上も立並ぶ中の、カフェ・ニョマンとカフェ・ムネガと言う二つのレストランの計三箇所、同時に8発の爆弾が炸裂したのである。こちらでは日本の放送の様に事件現場にニュースキャスターが立って状況を報告することがないため、画面からは夜のため露出不足のザラついた映像と、飛交う怒号しか伝わらず詳しい状況は全く分からないが、それでもスタジオのアナウンサーは、犯人は各現場に一人ずつ爆発物をカバンに詰めて背負い他の客に紛れて店内に潜んでいた事、爆弾のリモコンスイッチを押したのは別人らしい事、爆弾をバリ島に持ち込んだのは3人の女性らしい事、更に、クタスクエアでは事件発生直前、このエリアで最も多く白人が集まる店は何処か？と聞込んで歩いた女性がいた事等を伝えていた。

事件から一夜が明けた2日、朝起きると直ぐにラジャスのオーナー・ルディに電話を掛けた

が未だ通じない。仕方なく私は車を飛ばしてクタのプリ・ウィサタホテルに行きこのホテルのオーナーで私の親友のシモンを訪ねたが、彼は事件の前々日の30日からオーストラリアに行っており留守であった。それでもホテルの従業員からルディ夫婦は事件があった時、娘の結婚式のためジンバランのホテルにいたため危うく難を逃れることが出来たことを知らされ安堵した。

この日の新聞では、怒号飛交う現場、現場は血の海、涙の洪水・サンラ病院、等の見出しと共に、このテロによる死者31名、負傷者88名（後日この中からも死者が出ている）と伝える記事等と合わせて、三箇所の現場の損壊状況や混乱する病院の様子を伝える大きな写真が一面全部を埋めて報じられていた。

3日目の報道はよりショッキングなものであった。一面では事件翌日の朝に現場視察に駆け付けたメガワティ前大統領と、その数時間後に現場を訪れたユドヨノ現大統領の写真と政府の対応の遅れを報じる記事と合わせて、病院内に累々と並べられた犠牲者の写真、千切れ跳んだ首と左腕をビニールシートの上に置かれた自爆犯人一人の写真が並び、犯人は6人グループ、内一人は逮捕と報じている。この日は二面も全面を用いてクタ地域の全僧侶がラジャス前に集い、犠牲者追悼と現場を清浄する宗教儀式（ウパチャラ・プニユチアン）執行の様子と、クタを包含するパドゥン県が今後の安全確保に向けた対応策を協議中であることを詳しく伝え、又、クタやジンバランの浜辺や現場近くの商店も通常通り営業し、以前と変わらず賑わっている事が強調されている。

しかしこれらの記事の中で、私はラジャスのマネージャーで私とも懇意であったワヤン・スティカが犠牲になり、キャッシャーに座り良く冗談を交わしていた女性のマデ・ムルヤティが意識不明の重体（後日死亡）であることを知ったのである。

4日目の記事では、警察がバリ中の貸家とアパートを徹底的に捜査している事、又、支援のために来島したオーストラリア人医師が犠牲者

の遺体解剖に献身する様子を詳しく報じている。特にジンバランでの捜査状況を伝える記事では、爆弾が砂浜の下にも仕掛けられていたことから、未だ不発の爆弾があるかも知れないとして、警察がジンバラン一帯の広大な浜辺の全域に亘り徹底的に捜査をしている様子が詳しく記載されている。しかし、これが間違えて外部に伝わり日本のテレビでは、犯人が未だ爆弾を隠し持って島内に潜んでいるため、今後も何回かのテロが実行される可能性が大きいとのニュースを流している。

5日6日の新聞休刊日を挟み、7日目の報道からは目立って着着きが見え始め、未だに身元が割出せない爆死した3犯人の首を台に載せた写真と合わせて、情報提供を呼び掛ける簡単な記事と、警察は既に94人の容疑者を取調べているとの報道はあるものの、アチェで起きた地震と鳥インフルエンザで死亡した幼児に関する記事に大きく紙面を譲っている。

8日目の記事には、前日の記事が功を奏したのか3犯人の内一人がジャワ島のソロ市の出身者であると判明した事、ラジャス前の道路の通行禁止が解除された事、もう一人のラジャスの店員が遂に死亡した事等の記事が掲載され、これを機にその後の新聞にもテレビにもテロ関連のニュースは殆ど見られなくなった。

残念ながら今回の事件でも日本人女性が一人犠牲となったのだが、当然ながらそれが特筆されて報道されることはない。犠牲者名を発表するテレビの字幕にAikoと言う名前とJepangの文字をが1~2度流れただけである。他にもう一人、負傷者の中にKawasakiとあったが、インドネシアにもカワサキと言う呼称があるとの事で国籍が判明せず？マークがついていたため、この人のその後の安否は全く分からない。

インドネシアには映像や写真に対する報道規制が無いのか又は著しく緩いのか、アチェ大津波の時もそうであったが、惨状を克明に伝えるためとは言え凝視出来ない程衝撃的な写真が構わずに掲載される。記事そのものにも特に見出しにはセンセーショナルな活字が躍る事が多いが、内容は事実に極めて忠実に克明に記されて

いる。

テロ報道がすっかり落ち着き、親友のシモンがオーストラリアから帰国するのを待って、私はラジャスのオーナー・ルディと会った。

彼との出会いは10年程前のことになる。レギャン通りに比べて遥かに閑静な地域が現在のクタスクエアに生れ変わろうと急ピッチの大工事が大詰めの段階に入った頃であった。シモンから幼友達と紹介された彼は当時、ドイツ人の奥さんと共にスラバヤから出て来たばかりであったが、新しく出現するクタスクエアの高級商店街の一角にレストランを開業し、美味いミー（麺類）を目玉商品にしたいと言う。そこで、私が無類の麺好きであることを知るシモンが私を彼に引き合せなのである。以来この3人と彼の奥さんを加えた4人で幾度となく麺料理を提供する島内のレストランやワルンを巡り、中国人（彼は中国系インドネシア人である）、日本人、白人が好むミーの味を探して麺料理を食べ歩いた思い出がある。従って現在のラジャスで提供されるミー・ラジャスの味付けには私も少なからず一役買っているのである。

又彼はシモンと同様に大のカジノ好きである。無論ラジャスレストランが大成功し大きな富を手にする様になってからだから未だ左程長い年月ではないが、インドネシア国内では禁じられている賭け事に興じるため、オーストラリアのパスやシンガポールにシモンと連れ立って頻繁に出掛け、時にはラスベガスやドイツにまで脚を伸ばす事もある。パスには私も誘われて幾度か同行したことがあるが、素人の私でさえ多少なりとも勝つこともあるのに彼は勝った験しがない。当然、財布の紐をしっかりと握る奥さんからその度に絞られているのだが、その度に彼は「小林が今バりに来ていてカジノに行きたがるので自分が連れて行ってやらねば・・・」と言訳をしていたのだが、ある時クタの街でバツタリ出会ってしまった奥さんに「アレ？今はパスではないの？」と問われて彼の嘘が発覚し、後日ルディ、シモン、それに私の三人が、母親の前の悪戯小僧の様に揃って肩を並べさせられ

「全く揃いも揃って男達は！」と大目玉を食らったこともある。

そういう間柄と言うこともあり、シモンの「小林が心配しているぞ」との呼びかけに、彼は未だ警察からの禁足令が解けていないにも拘らず、丁度事情聴取に来ていたと言う刑事を護衛代わりに連れてクタのホテル・ブリウィサタへやって来た。

顔を会わせるなり、私が当日その時間にラジャスに行く予定であったことを既に聞き知っていたルディは、こちらが彼の無事を喜ぶ以上に私が無事であったことを喜んでくれた。

同席していた刑事の話では、今回のテロは概ね既に報道されている通りだが、色々な状況から推して警察は、過激なイスラム教徒がルディ本人の殺害を狙った可能性も棄て切れていないと言う。その理由は、ルディが大のイスラム嫌いであることから誰彼構わずイスラムの悪口を公言して憚らなかつたために彼等の憎しみを買ったかも知れないと言う。

「だから言わないことじゃない！家族と友人以外の人間に他人の宗教の悪口は厳に慎めといつも言っていたらどう！」と、シモンと私が注意をすると、彼も「忠告は良く理解出来るが、自分が常に言っていたイスラムは悪の宗教だと言うことが証明されたではないか！」と反論してくる。

いつもの元気を取り戻してきているなど感じている私達に彼は事件当日の様子を話し始めた。

娘さんの結婚披露宴の最中にラジャス爆破の報せを受け急遽現場に駆け付けると、彼が目にした光景は正に阿鼻叫喚の地獄絵だったと言う。

粉々に砕け散った店内、散乱する瓦礫の山、その隙間には人間の手、足、肩、首等の肉片が、誰のものとも識別出来ない状態で飛び散っていたと語る彼の目には、犯人グループに対する激しい憎悪が滾っている様子が見えた。しかしその彼も犠牲者達の話になると、遺体の損傷状態等の内容は更に耳を塞ぎたくなるものばかりであるが、彼の口調から憎悪は消え唇を震わせながら犠牲となった客や従業員が可哀想だと繰り返して語り続け、流れる涙を拭おうともしなかった。

最後に彼は「小林、俺は負けない！必ず同じ場所にラジャスを再開する。テロに負けたと思いたくないし思われたくもない！」と力強く語

り帰って行ったが、その後姿を見送りながらシモンと私は「彼は今、必死に自分の心を奮い立たせ様としているのだ」と感じていた。

日本の報道が伝える様に確かに今回の事件は、二つの大きなビルを一瞬にして瓦礫の山に変え、202名の犠牲者を出した前回（2002年10月12日）のテロに比べて、その規模は小さく犠牲者の数も遥かに少ない。しかし、何の罪も関りもない人々の生命を無差別に奪う行為は、規模や死傷者数の大小に関らず、如何なる理由があるにせよ決して正当化出来ない狂気の犯行であることに些かの違いもなく、憎みで余りある犯罪行為である。

前日もそうであった様に今回も、事件後の現場には遠く離れた土地からも多くのバリ人達が誰に命じられるでもなく全くの手弁当で駆け付け、現場の復旧作業を黙々と手伝っているが、その姿を冷ややかに笑いながら遠巻きにして眺めているのが、若い日本人観光客であったと言う。

平和ボケの日本で何の苦労もなく生活する彼等の頭では到底理解出来ないだろうが、バリ人達の平和や安全を希求する心と、それを脅かす者への抵抗心は世界中のどの民族より強く、彼らは島の安全を願う気持の発露から、一日も早く島を復旧させようと努めているのだと私は思っている。

こうした善意の人々の地道な努力によって、今は既にクタもジンバランもいつもの平静を取り戻し、何事も無かったかの様に街には活気が満ちて来ている。もう暫くで安全宣言も発せられるだろう。再び多くの日本人観光客がバリ島を訪れ、日本と関連深い歴史や土地の文化に触れ、穏やかな笑顔で歓迎してくれるバリ人達と心からの交流を実現出来る日が早く来て欲しいと、私は切に願っている。（ 終り ）

# セブで英会話留学

九州支部 592番 稲葉 敏夫

今回、2ヶ月の英会話留学について、会報係の龍野様から原稿の依頼があった時には、文章にするのが不得手なこともあって正直迷いました。しかし、いつも皆様から情報を頂いているばかりでは申し訳ないですし、また何人かの方からもお問い合わせがあったことなどから、少しはお役にたてればとつたない文章になることは顧みずに投稿させていただくことにしました。以下は思いつくままに書き連ねたものです。

## (留学の理由)

仕事や旅行で何度か海外に出かけた時、会話ができたらもっと楽しめるのと思いつつ「今度来る時には…!!」と意気込んでみるものいつも空回り。夢は年に一度の海外ロングステイ、そのためにも英会話を覚えるぞ！それには英語漬けが手っ取り早い…と思ったのが今回留学のきっかけでした。留学先のCPILSは次のURLでご覧になれますので詳しくはそちらをご参照ください。 <http://www.eigo.cc/>

CPILS を選んだ理由は、他に比べて費用が安かったこと、最悪1：1の授業に変更できること、ロングステイ先としてのフィリピンの情報を得ること、など等です。

## (出発)

12月3日、期待と不安半々で早朝に家をたちました。初日はトラブル続きでした。その一部始終を紹介します。

関空で筆箱のカッターナイフを没収され、マニラでは入国審査のあと個室に連れ込まれて刺青のチェック（ナンデ私が…していません!）、その後も係員が付きまとい国内線の搭乗ゲートまで勝手に案内した挙句にリベートを要求してきましたが、No!の一言ですごく退散して行きました。相手を良く見ろよ!そんなに怪しいかあ!?…腹が立ちました。

## (授業)

初日のオリエンテーション時にレベル分けテストがあってクラスが決まります。授業は1レッスンが100分（金曜日は50分）、8：30～16：50（同8：30～12：20）の間の4レッスンの時間帯のうち決められた3レッスンを受講します。

私は1：1を2レッスン、1：4を1レッスンにしました。その他にも無料で受講できるレッスンがいくつかあります。

当たり前ですが、授業はいきなり英語のシャワーで始まります。レベルにもよるのですが、初歩的なことからテーマも多岐にわたり飽きません。日本語が通じないのでどかしくなることも頻繁ですが、先生は根気強く時には励ましながら丁寧に教えてくれます。

先生が合わなかったら変えることもできますので、自分のペースで勉強できる環境にあると思います。また先生やクラスメートとの飲み会は特別なレッスンの機会です。



10のビールがなんと48ペソ…!!!

## (宿泊)

学校は想像していた以上に古い建物でした。私は寮のドミトリーの一人部屋で広さは8畳弱、トイレ・洗面台・シャワー（一人部屋はお湯が出ます）が一畳半ぐらいで仕切られ、ベッド・作り付けのテーブル・物入れがあります。エア

コン・テレビ（NHKが見られます）が設置されています。

宿泊先は寮以外に歩いて15分（タクシーでP40～50）の所に提携先のディプロマットホテルがあります。清潔さ・快適さはもちろんホテルの方が上です。学校まではスクールバスが運行しています。

私は寮にして良かったと思います。少しでも多くの人と触れ合い英語を話す環境に身を置きたかったし、授業や食事の待ち時間に休憩する時にも便利です。また休日に食事だけに通うのはけっこう面倒臭いかなとも思いました。

後で分かったことですが寮にもホテル（CPI LSの前身はハーバービューホテル←タクシーではこう言わないと分からない）の一人部屋があることを知りました。これで同じ値段！？差額を返せ～!!!と言う気にさせられました(???)。

### （食事）

寮の食事は韓国料理のバイキングです。メニューは一週間のローテーションでご飯（朝はパン、お粥）に3～4種類のおかずとスープがあります。個人の好みで一概には言えませんが、私の場合は一時限目が10:30からだったこともあり、遅めの朝食をしっかりと食べて一日二食にしました。また週に二回ほどは外食や飲み会などで胃袋を慰めていました。

セブ在住の南の会の皆様には、いろいろなお店に会食のお誘いをいただき大助かりしました。

### （費用）

私の場合、2か月の授業料・宿泊費（3食付）・関空からの往復チケット込みで¥313,000ーでした。それに保険・留学ビザ・電気代・空港税など諸々が¥50,000ーほど、空港までの費用が最低かかります。ホテルの場合は¥30,000-/月アップだったと思います。

為替は¥10,000ーがP4,400～4,500でした。ちなみにタクシーは市内でP40～70、映画はP120、床屋はカットだけならP50、大好きなビールはP20～40（320ml）でした。

### （必需品）

服装は半袖・短パンで十分ですが、教室はかなり冷えています。薄手の長袖にズボンが必要です。

また学校のあるダウンタウンの近辺はどこも排気ガスと埃で空気が悪く、学校内は人でごった返しています。健康管理には十分注意が必要です。寮の周りは夜中までけっこうやかましい…など等からのど飴、耳栓のご持参をお奨めします。ご飯のお伴などもあれば万全、言うことありません。

また寮の部屋には備品が何もありません。お茶やコーヒーを飲むカップやトイレトペーパーも自分で用意する必要があります。

### （イベント）

2か月の間にクリスマス、New Year、そしてセブ最大の祭りシヌログに立ち会うことができました。時期的にも12～2月が一番凌ぎやすいと伺い本当にラッキーでした。



シヌログ…ダンシングフェスティバル

学校ではクリスマスフェスティバルが最大のイベントでした。盛り上がりは数ヶ月に渡って続いて来たらしく、エネルギーでとにかくお祭り好きな民族だと感じました。

金曜日の午後には毎週卒業セレモニーがあります。その他、週末にはグループで小旅行に行ったり、先生やクラスメートとの飲み会などは頻繁にあります。

### （設備）

学校内にはインターネット、卓球、ビリヤード

ド、プール、トレーニングジムや図書室などがあります。

パソコンは日本語対応していますのでメールやホームページの検索には不自由しません。また、日韓対決などとはやし立てられ指の皮がむけるほどムキになって卓球に興じたり、夜の10時過ぎにプールに入り水の冷たさに震え上がったことも懐かしく思い出されます。この時ほど自室の温水シャワーの有難みを感じたことはありませんでした。

ラケットをお持ちの方はぜひご持参を！

プールでは週に一度スイミングスクールがあります。泳げない方もこの機会にチャレンジされたら良いかと思います。

### (おわりに)

CPILS は韓国学生向けの英語学校で400~500人居る学生の90%は20代の韓国の若者です。彼らは皆フレンドリーで年配者には礼儀正しく元気をもらえます。日本人は40人位でその内の半数がシニアの世代でした。

2ヶ月の英会話留学も過ぎてみれば早いものです。会話の上達はと言うといささか疑問ですが、ビギナークラスの私にとっては、やっと聞き取れるようになりこれから面白くなる段階だったような気がします。

帰ってからは英語を使うことは殆どないので、勉強したことが無駄になってしまわないか心配です。やはり帰ってからの肝心で、いかに勉強を続けていくかが課題になりそうです。

なんとか無事卒業 一抹の寂しさが…



最後になりましたが、在学中はセブ在住の南の会の皆様やご一緒させていただいた会員の皆様方には大変お世話になりました。おかげ様で留学生生活をよりいっそう楽しく送ることができましたことを感謝いたします。

### メーリングリスト・ミニ情報

#### スカイプアドレス帳の使用報告 (2005. 12. 19)

スカイプアドレス帳、いよいよ使用環境に入る。12月11日関東支部サロン会でご紹介いたしましたスカイプアドレス帳、本日インストール完了し、北海道の工藤さん相手に、テスト発信しました。ちょうどその時工藤さんしかアクセス状態の方がいなかった為、工藤さんが犠牲者になってしまいました。結果はまったく同じ状態(通常使用のPCと)で良好でした。その時ペナンの小林さんからスカイプ入電の為3人で会議をしました。結果申し分無く、会議?出来ました。 N0327 市東明義

#### スカイプ「テレビ電話」、922 樫尾です (2005. 12. 5)

スカイプが無料のPC「テレビ電話」を始めました。スカイプで、通話時に双方の映像をパソコン画面に表示しながら話ができる「テレビ電話」の機能が無料で使えるようになりました。新ソフト、スカイプ2・0は無償で提供されます。これまで通り、同社のホームページから無料でダウンロードできる。同種の動画対応サービスは、ポータルサイト大手の米ヤフーなどが、メッセージをリアルタイムで交換する簡易メールの付加機能として提供していますが、スカイプ新ソフトは操作を簡素化したり、電話の呼び出し音の変更を可能にするなどの改良も加えています。別途パソコン用のカメラを取り付ける必要があります。世界で6000万人以上が利用するとされるスカイプの参入で「テレビ電話」の普及に弾みがつきそうです。

# 「フィリピン バギオ」でのステイで思う事

東海支部 563番 松井 巳和子

最近「南国メール」で国際貢献・国際親善との話題が取り沙汰されていました。今回、私はバギオ滞りで貴重な体験をさせて頂きましたので皆様に報告させて頂きます。バギオ都市情報は今まで行かれた方の報告記事や、斎木バギオ支部長の詳細なバギオ便りで重複しますから省きます。

今回、東海支部会員10名と関連友人2名の12名が、バギオでの大イベント、フラワーフェスティバルに参加のバギオ日本人会のお手伝いをさせて頂きました。

そもそもの話の始まりは、2005年1月末より2度目のバギオ滞在を約3週間過ごしました。同じ時期、滞在期間は異なりますが、東海支部会員3夫婦とプラス3名の最多時会員9名での滞在になりました。松風そよ高原都市・治安抜群・汗をかかない快適ゴルフ・安くて美味しいビールを満喫しての帰国間近、バギオ日本人会の副会長の会友山田さんから「是非、もう一週間帰るのを延ばして欲しい。バギオ・フラワーフェスティバルが開催されるが、人手が無く困っている。何とか、手助けして欲しい」と頼まれました。しかし、チケットやビザの更新の事もあり「今年は協力させて頂けないが、来年には必ずお手伝いさせて頂いて下さい」と伝え帰国しました。その後、斎木支部長の「バギオ便り」で、よさこい連の協力でパレードは大成功と知り安心しました。

帰国後、私達は来年の準備を始めました。数度の会合を持ち、斎木支部長・山田さんの助言を頂き「何をしたらフィリピンの人々に喜んで頂けるかや、日本の文化を伝えるのには、どの様にすれば効果的か」を有志の会員と話し合いを始めました。東海支部会員で、それ以後バギオを訪れた方も加わり最終的に、2006年2月のイベント参加は12名になりました。

それぞれが、できる事・得意な事を話し合い、結果「お茶会・生け花・日本舞踊・ゲーム・パルーン遊び」等の案が出揃いました。各自の負担を決め計画を進めました。私の場合、以前から途絶えていた日舞の練習を再開する事にしました。

着物を着ない生活が長くて悪戦苦闘の始まりです。先生の「腰が高い」との指摘で「回らずそ払い」が出来ず転ぶ事もありました。扇の回転で指の皮も擦りむけテープを貼っての練習もあります。練習場だけでは納得できず自宅での練習も欠かせません。主人には氷の様な冷たい目で見られ、ペットのマルチーズには吠えられたり老体ムチ打っての練習です。正直、辛かったです。「止めたい」と何度も思いました。でも、この努力が、この後「これまでの私の人生最大の感動と喜び」を与えてくれる事になるとうとは想像だにしていませんでした。

一月末皆さんが、それぞれの負担を準備しバギオに向かいました。私達3名は2/1に斎木支部長の助けを受けながらバギオに到着します。到着と同時に会友山田さんよりイベントのスケジュールを頂き、大忙しのバギオ・ステイが開始です。簡単ですが以下活動状態をメモします。(一部省略してあります。)

2/4 イベントを手助けしてくれる現地日本語教室の生徒と盆踊り練習

2/5 斎木支部長ご夫婦の行っているボランティアのお手伝い アボン(北ルソン比日友好協会)での日本語練習参加2/9 日本語教室での盆踊り・日舞の披露2/10 サンファビアンでの慰霊碑移転に参加

2/11 アボンでのホームカミングデー(日系2世の集まり)参加。

年に一度の日系2世の方が集合、ゲーム・食

事会・盆踊り（炭坑節）・日舞披露

2/12 アボンにて日系人の方へお茶と生け花の講習会開催

2/18 フラワーフェスティバル・ジャパニーズデーに参加。

セッションのピープルズパークで生け花展・ゲーム参加協力

2/19 同場所にて大盆踊り開催

檣組んでの炭坑節・おどるポンポコリン・日舞披露

2/23 セッションのアトリエでのお茶と生け花指導参加

2/25 バギオ最大のイベント フラワーフェスティバル・パレード参加

3/1 バギオからバスにてマニラへ移動



文に書けば簡単ですが、毎日の英語教室に通いながらの参加です。2/18は、皆さんと早くから市場に行き、安価で多種多様な花の中から生きたい花を物色、そして、観衆見守る中、準備されていた白布がかかった展示台に各自が自分流に花を生け、観客からの質問にも習い覚えた英語で説明し日本文化を多いにアピールしまし



た。生けている最中にも「この作品を売って欲しい」との声が掛かる事もあるほど盛況でした。翌日の同場所での盆踊り大会は感動しました。同行会員で檣の上で踊る人・下で踊る人を分担、会友山田さんの大太鼓が鳴り響く中、飛び入りの現地の人も加わり幾重にも輪になっての炭坑節・おどるポンポコリンです。観客はピープルズパークを埋め尽くし隣接している公園歩道やH型の横断歩道橋にも鈴なりの状態になりました。

私は、この大観衆の中で未熟な日舞の披露の機会を3度も頂きました。最初は心臓が口から飛び出し、脳味噌が爆発するくらい緊張しましたが、数分後には陶酔の世界に入っていました。もの凄い人数の目が私に注がれ、それぞれの目が光って見えました。私の気持ちが落ち着いてきたら先日お会いした日系人の方々のお顔も見えます。93歳になる家族と共に移住された日本人のお婆ちゃんのお顔も見えます。ある人は涙しています。ある方は割れんばかりの拍手をしてくれています。こんな方々を見ながらの踊りは之までには経験した事がありません。日本ではホールでの発表会・ホームへの慰問の経験はありますが、ここバギオでは雰囲気は全然違います。踊りながら涙ぐんでいる自分を感じました。こんな、稚拙でいい加減な踊りを喜んで頂けた事を、本当に幸を感じました。踊り終えて檣を降りると、観客の中から駆け寄ってこられ涙に濡れた手を差し伸べられた方も居ました。

海外でスティして国際貢献と言うと、何だか身構えてしまいます。でも、思うのです。自分

の持てる力の範囲内で、現地の方に不愉快な気持ちにさせ無い生き方が第一で、次は、現地の方に「あなたは、いい人ね」と喜んで頂ける生き方、その次は、「あなたは好きよ、だから、あなたの住んでいる日本は大好きよ！！」と進化すると思います。バギオでパレードに参加していた時、斎木支部長が言いました。

「以前は、こんなに多く日本語での呼びかけは無かったですね。一昔前、日本人商店街で連なったバギオのメイン・ストリートであるセッション道りを、もう一度、日本語の飛び交う街になって欲しいですね。」日本語教室や戦没者慰霊碑のお世話のボランティアを、地道に行っておられ

る支部長の言葉として重く受け止めました。

今回のバギオ滞在は、日比友好に勤められ且つ誠実に生活しておられる方々の多少なりとお役に立てたかと感じています。

イベントを盛り上げていただいた12名の各々については、人それぞれの感じ方や思いはあると思います。同行した主人も、イベント参加でゴルフも少なく、好きなお酒も控え気味でした。でも、私の喜んでいる様子に今回のバギオ・ステイを納得してくれている様です。私自身は、血肉踊る様な感激をさせて頂いた皆様に感謝しています。この事を報告したいと思い筆を取りました。

### メーリングリスト・ミニ情報

[チェンマイ ステイヤーズ コーナー] (チェンマイ便りより抜粋)

チェンマイ支部 #054 山口洋二

現地一会員の心情ということで書いてみたいと思います。そもそも既に海外に住んでいる会員がこの南の会に会費を払ってまで会員の資格を継続しているのは何のためでしょうか。少なくとも、海外現地情報に関して会から情報を得るためではないことは明らかです。現地に日本人が少ないため、少しでも友達を増やしたいという方も居られると思います。しかし3千人を越す多くの日本人が滞在しておりますここチェンマイでは余りその必要性もありませんし、あるいは日本語に飢えているといったこともあります。それでは何のためでしょうか。

私の場合は、ロングステイするまでの間、南の会から多くの情報を頂き、お世話になりました。よってその恩返しをしたいという気持ちで、会員を続けており、必要性がある限りにおいては、会員を続けていきたいと現在のところ考えております。それでは私の考えております必要性とはどのようなものなのでしょうか。私は、南の会はあくまでロングステイを考えている人の集まりの会であって、ただ単に海外旅行をする人の集まりではないと考えております。よって海外旅行を、あるいは観光を主に考えて来られる方に対しては、相談に乗る気持ちは全くありませんし、われわれを利用することなく、勝手に遊んでくださればと思っています。

しかし真剣にロングステイを考えて下見に来られた方には私が体験等しましたロングステイの現地ノウハウをお伝えしたいと考えており、大いに歓迎したいと思います。旅行者ではなく、現地で生活している者しか分からない色々な情報が沢山ありますので、遠慮せず、気さくにお尋ねしていただければと思っています。そのための海外在住の会員であり、その点のみにこそ私の価値があると考えております。ただし現地での宿・交通手段の手配・現地案内等は遠慮させていただきます。ややもすると現地不案内ということで、現地でのこれら手配等何でもかんでも依頼されます方をお見受けしますが、あくまでロングステイするに当たっての相談であって、滞在等の手配をお世話する事はありませんので悪しからず。現地での宿・交通手段の手配・現地見学等の相談には乗りますが、実際の手配はご自身で行っていただきたいと思います。という、相談するのが面倒あるいは余りに遠慮されて直接現地の業者等に手配をお願いするという方も見受けられますが、せっかく南の会に入っておられますので遠慮せずその前に私どもに少し相談していただければ、無駄な高い授業料を払う必要がないのになあと後で状況を伺って思うことが多々あります。しかしそれも自己責任ですので問題はありませんし、またその人にとっては良い経験であるのかもしれない。以上少々きついことを記載しましたが、海外在住の会員の気持ちを少しでもご理解していただければ幸いに存じます。そして多くの会員の方が少しでも当初から快適なロングステイを体験できますよう微力ながら支援したいと思っています。

# ニュージーランドレポート

東海支部 643番 鈴木 憲介

ガーデンシティーと言われるニュージーランド、南島クライストチャーチ市（人口30万人、ニュージーでは首都ウェリントンと並び、人口100万人のオークランド市に次ぐ）に来ています。ニュージーランドに入国してから早いもので1ヶ月半の月日が経ちました。離日するまで横井様を初めとする南の会東海支部の皆様には特にお世話になりました。この場をかりて感謝を表します。

現在私の入国許可は3ヶ月の観光ビザで、これから永住権を取得しようとして鋭意努力中です。現在の観光ビザを延長するような事にはならないと思いますが、永住権申請と同時にワークパーミットも申請して ”ここに住む” という気概をもって臨んでいます。

永住権申請に関し、少し問題がありました。

- 1、無犯罪証明書の発行を領事館を通じて行ったため手元に届くのに2ヶ月半はかかることになった。
- 2、健康診断の申し込みを病院にしたらずぐには出来なかった。申し込みから3週間かかりました。
- 3、その他書類の準備に時間がかかっています。これはいままで日本とニュージーに分かれて暮らしていたため、その理由や夫婦である証明、ニュージーに来てから同じ屋根の下で暮らしている証明などが必要でした。また、私を取り巻くコミュニティーからの推薦状なども必要です。様々な書類がそろって初めて永住権を申請できます。

1に関しては領事館に申請中という証明書を発行してもらいました。2はクリアできました。X線の結果や尿・血液検査（H I V・高血圧・糖尿等）など問題なし。右視力が若干弱いようです。心配した緑内障のことは問診で聞かれませんでした。良かったです。また3に関しては手紙書簡など記録書類を少しずつ日本から送っ

てもらうなど取り揃えています。必要になる出生証明書は領事館で戸籍謄本を翻訳してもらいました。

こちらに暮らす日本人の永住者にもコンタクトして推薦状をお願いしています。また一緒に来た娘もこのチャンスですので、永住権を私に併記するような形で申請することにしました。彼女の提出書類の準備が遅れています。

ファミリーカテゴリーでの永住申請になります。嫁さんが3年でなくまだ2年の永住権取得者なのが、気にかかります。最近の法規では3年でなければ家族呼び寄せは不可との情報もあります。どうなることや詳しい事は分かりません。とりあえず申請してみます。来週初め頃、いわゆる4月初めによく申請手続きが終わるというような状況です。まあ心配しても仕方ありません。まず申請して、気長に結果を待つことが肝要と今では居直っています。この春季号会報が皆様に配布になる頃には何らかの結果が出ていることでしょう。

ニュージーに暮らしてみてもその生活状況から、少しづついろいろな事が分かってきました。それらを思いつくまま順不同で列記しますと次のようです。

こちらの物価状況として米パン牛乳・野菜・イモ類・果物は比較的値段が安いですが、他の食料および生活資材その他は結構高く、日本並みです。

クッキングや温水シャワーの熱源は主に電気ヒーターである事。ゆえに電気料金が比較的高い、日本並み。

水は水道の蛇口から安心して飲めます。しかもこの町クライストチャーチ市の水道料金はタダです。

ホテルは決して安いとは言えません。しかしピンキリです。

英語圏であること。人種の垣塙（るつぼ）で

白人・マオリ、南太平洋から来ているアイランダー、他のアジア系外国人から成ります。人種間ともに友好的で治安状況は良い。アジア人差別は比較的少ない印象。白人の英語は早口で理解しがたい状況です。これには私にとって慣れるというだけでは済まされないでしょう。学校に行って再度学ぶ必要があるかもしれません。

国土は比較的広く、総人口は少なく（日本の4分の3の国土に410万人が住む）、自然に満ち溢れている。トレッキング、フィッシングなどの自然にかかわるアトラクションも多い。ビザ不要。観光ビザが入国時飛行場で3ヶ月もらえます。

高度な福祉国家であること。仕事はありそう、また起業もできそうな予感。これらの点に関しては別の機会に報告したく考えています。ガーデンシティーと呼ばれるだけあり、市民は花やガーデンの手入れに余念がない。（例外もあります）高いビルもそれほど無く、町全体がきれいに見えます。花が多く、私の借家の周りでも数えてみたら23に及ぶ草木の花の咲いているのが観察されました。

チャーチ市には10ヶ所に及ぶゴルフ場があり、いずれも安くプレーできます。新聞広告では18ホール、ウィークデーで1200円のところもありました。私にとっていまだ機会がなく試みてはいません。

入国時1ドル80円（2月中）程度の換算率であったのですが、最近ニュージードル安（3月末73円）に進んでいます。今までここに投資した人にとっては打撃ですが、これからの投資や旅行には好都合と思われます。

電圧230V50ヘルツです。TVなどはPALシステムです。ゆえに日本の電化製品は使えません。トランスやマルチシステムの電化製品が必要。

最近の気候 赤道から世界地図を二つ折りにすると、チャーチ市は札幌の位置に当たります。2月中旬頃から3月末までの気候はと言うと、朝夕方など若干寒い時はあったものの12-24度Cとまずまずの温度でした。この原稿を書いている

現在の室温は14度Cです。

オークランド市は雨の多いところと聞いていましたが、ここチャーチ市はたまに雨が降る程度でした。今住んでいるところは海に近く、風が強いです。冬はかなりこたえるかもしれません。これからこちらは寒くなるのが予想されません。その寒さに備える準備をしなければなりません。先日は冬に備えて暖炉火つけ用の松ぼっくり拾いをするなど笑ってしまう現実もあります。その松ぼっくりの大きいこと。とりあえず日本の暖房を使用のためステップダウン変圧器をこちらのネットオークションから用意しました。南の会の友人から用立てたコタツを使うつもり。その他借家にある（チムニー式）暖炉、湯たんぼ、カイロなどで今度の冬は乗り切るつもりです。電気代をセーブするため、クッキング用ガスオーブンを日本から送りました。また持ってきた圧力釜も電気代節約で利用価値が高いでしょう。お風呂はもっぱら備え付けの電気ヒーターによる温水シャワーですが、もひとつ寒くもの足りなさを感じます。どっぴり入る追い炊き式の日本のお風呂が恋しくなりそうです。



チャーチ市からまだ遠出をしていません。ニュージー滞任経験はまだ1ヶ月半とごく少ないです。このような時間経過ですから、まだこちらが、南の会の人々が望むロングステイに適している



シュガーローフ山から望むクライストチャーチ港

ものかどうかの結論は出ていません。しかし、人によって感じる印象はさまざまですから、長く滞在しても結論は出ないでしょう。

ただ言えることは結構な数の日本人がこの地チャーチ市にきています。街のセンターに行き、繁華街を歩きますと日本語を話しながら歩く人達に良く出くわします。彼らは語学留学であり、ワーキングホリデーです。これからは団塊の世代のロングステイも増えることでしょう。

チャーチ市だけで1年以上に及ぶ在留届けを提出した日本人は約2000人とのことです。北島のオークランド市ではこの3倍はいるとの領事館書記官の話でした。届けを出していない人もかなりいることからトータルで1万人前後の日本人が常時ニュージーにいてることになります。またニュージーを旅行して賛美する人は多いです。チャーチ市は市民のガーデンがきれいと言うことで特に女性に人気が高い所ようです。確かに街のあちこちをつぶさに歩き・見てそれは感じました。このような現状からこの地はロングステイ地に興味ある土地と考えられます。

また人それぞれに育ちの違い、性分、価値観、哲学、好み、出会いなどが違うので、ニュージーが良いか悪いかを一概に決めつけられるものでもありません。

ある人はニュージーはオーストラリアよりも人種差別があるのでニュージーだけは行かない方がよいと言いました。私はなぜその人がそのように言うのか理解は出来ませんでした。むしろその反対なのではと心では思いましたが、彼があるいは彼の娘さんがニュージーに来たときに関わった人との出会いや思い出がかなり影響しているものと感じられます。

私は若いとき初めての海外旅行でフィリピンに行き、良い意味の強いカルチャーショックを感じました。仕事でも、その後もこの国にかかわってもきました。普通誰でも一番先に行った国が一番思い入れの強い国にもなります。また好きにも嫌いにもなりえます。二度と外国に行くものかと思う人もいるでしょう。幸いにも私の場合はフィリピンの人達のフレンドリーさやホスピタリティーに出会って良かったと思って

います。私にとって、その後の人生は180度転換するものとなりました。フィリピンに似た南太平洋の小さな島、サモア島にその後の人生を託す事になりました。今は悔いはありません。悔やんでも仕方がないことです。

昨夜ここに住む日本人とスカイプをする機会を得ました。今サモアのアピア市では外国人をねらう泥棒が多いようです。また犬にかまれる人もあとを絶ちません。笑ってしまいそうです。こんなプリミティブな行いが多い島ですが、それにも増して人々のフレンドリーさやユックリズムが良いです。私はこの島をこよなく愛します。常識の通じない島、冒険心のくすぐりや異文化に会う楽しさが一杯の島です。

さて、念願でもあったニューージーランドの生活がようやく始まりました。今後は少しでも近くなった南太平洋とともに人生の後半を楽しんでいこうと思っています。まずここニュージーで永住権取得と生活基盤を確立すべくこれから頑張っていこうと思っています。現在MLにて少しづつ「ニューージーランド・南太平洋レポート」と称して気まま日記を配信し始めました。日本全国の皆様とこの地で楽しい出会いがあることを期待します。今後とも宜しくお願いします。



左から3男、妻、次女、私



左から次女、私、妻、次男3男

## 支部報告

甲信越支部情報交換会および懇親会開催について  
甲信越支部 96番 宮澤 英光

開催時期；今春6～7月頃（決定しだい別途連絡します）1泊2日

場所；長野県佐久郡立科町 女神湖畔 リゾートホテル予定（昨年同様）

対象；甲信越支部会員、本部役員および他支部希望会員

詳細は時期を決定しだいでご連絡いたしますので参加をお願いします。

## 友好団体紹介コーナー

### 財団法人ロングステイ財団

ロングステイ財団は、ロングステイ（海外滞在型余暇）に関するニーズに対応したさまざまな情報の収集・提供やロングステイに関する調査研究、ロングステイヤーのサポート、ロングステイに係るあらゆる活動を行うことを目的として、1992年に通商産業省の認可を受けて設立された公益法人です。

電話 03-3505-4477

FAX 03-3505-4433

E-mail: info@iongstay.or.jp

URL; <http://www.iongstay.or.jp/>

東京都港区東麻布1-28-2（第六文成ビル2階）

### ワールドステイクラブ（WSC）

本クラブは「世界で作ろうシニアの生きがい」をスローガンに、海外旅行、滞在生活を通じて精神的な充実と生きがいを求める親睦団体です。

〒162-0827 東京都新宿区若宮町37 セレクトビル2階

電話/FAX 03-3268-2731

E-mail: worldstay@nifty.com

URL; <http://homepage3.nifty.com/worldstayclub/>

### チェンマイロングステイライフの会（CLLクラブ）

・世話人代表：中西重利氏

・副代表：富谷泰生氏

・事務所：チェンマイプラザホテルの横喫茶店「えびす」の2階

・電話：053-819270

月～金曜の毎日14:00～16:00の間、役員が交代で詰めております。

ご来チェの際には覗いてみてください。

オフィスではクラブ員手作りの珠玉の名著

「チェンマイ生活ガイドブック」を、実費

でお分けしております。これさえあれば、

チェンマイ暮らし怖いもの無し！

・URL; <http://c11.thai.jp.net/>

### THE JAPAN CLUB OF KUALA LUMPUR

#### KL（クアラルンプール）日本人会

（住所）No. 2 Jalan 1/86, Off Jalan Taman Seputeh, Taman Seputeh,

58000 Kuala Lumpur, Malaysia

（担当者名）事務局長 藤井和道氏

（2005年7月3日現在）

（会の概要）クアラルンプール日本人会は1963年に設立されて以来、会員の皆様からの大きなご支援をいただきながら、日本人社会の相互親睦とに日馬間の友好・親善促進という二大目標を掲げ運営しております。これからも、たくさんの方々に参加していただけるよう、より一層の施設の拡充と、マレーシア社会への貢献活動の強化を図ります。皆様のご入会をお待ちしております。

URL; <http://www.jckl.org.my/>

### バンコク日本人会

### バギオ日本人会

### 西豪州日本クラブ

## 部会伝言板

### 【経理部会より】

NO.434 大野 悦子

平成16年度、17年度と二年間経理を担当させて頂きました。酒匂理事長、池田会長、宮崎副理事長、各理事の方々、皆さんご協力下さいまして有難うございました。

平成18年度からは、会員番号No.717 染谷 克義さんが、担当されます。私の時と同様に宜しくご協力下さい。

例年、二月末日に翌年度の会費納入の締切日としておりますが、三月末を過ぎてもまだ納入されていない方がいらっしゃいます。

昨年後半に入会された方は、まだ1年が過ぎていませんが、四月から年度替わりになり新年度の会費を納入して頂くシステムになっております。忘れていらっしゃる方は、宜しくお願い致します。会員担当からもお願いされるとダブりますが、ご了承下さい。

二年間、有難うございました。

### 【総務担当より】

担当理事：宮崎哲郎  
菊地 功

#### 12月以降の総務部門の主な活動

12月15日：理事変更登記(法務局)及び役員変更届出(都)

辞任：安藤公二郎氏・山田宏秀氏

就任：今野力男氏・橋本慧氏

12月24日：第5回理事会。

01月06日：企画委員会。

01月14日：経理委員会にオブザーバーとして出席

03月07日：規定・必携編集委員会。

03月18日：第6回理事会。染谷克義新理事承認

03月21日：平成17年度役員会。後半、平尾顧問の問題に関連し、第7回臨時理事会に切替え。

04月04日：総務委員会。

04月08日：第8回理事会。平成18年度事業計画及び予算の承認。以上

### 【寄付のお知らせ】

No.18 木村 義光様よりJALの航空券4枚寄贈がありました。

ありがとうございました。

酒匂理事長

### 【編集後記】

今までの会報作成は原稿集めから編集まで1人で行って来ました。それでは1人の負担があまりにも大きいと言う事で新年号では原稿集めと編集を2人で分担する方式に変えました。

今回の春季号では更に原稿集めを複数の会報担当で当てることにしました。

また今回はNo.60 渡辺義郎さんに編集作業を全面的に協力して頂きました。ありがとうございました。

次回「夏季号」は7月発行です。原稿締め切りは5月末です。会報は皆さんの会報です。経験や情報を是非多数お寄せください

(龍野 記)



**[ 編集委員 ]**

No.117	龍野 宏	hirochan@rurbannet.ne.jp
No.327	市東 明義	a-e-shito@mtb.biglobe.ne.jp
No.240	菊地 範夫	noriokikuchi@hotmail.com
No.462	小林 孝	tf-koba@cf6.so-net.ne.jp
No.281	村松 幸子	skaijmura@mtf.biglobe.ne.jp
No.465	橋本 慧	hashi176@ybb.ne.jp

**記事の無断転載・複製を禁じます。**

発行者 特定非営利活動法人（NPO法人）

「南国暮らしの会」

Cminaminokai

理事長 酒匂 景輝

〒140-0002 東京都品川区東品川3-22-20-1208

TEL/FAX 03-3472-9954 <http://www.minaminokai.com/>

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU